

地域連携支援プログラム

報告書

(平成 28 年度)



東海学園大学

地域連携支援プログラム報告書（平成 28 年度）

目次

域学連携一覧

みよし市との包括協定による活動一覧	ii
名古屋市天白区との包括協定による活動一覧	iii
名古屋市農業センターとの包括協定による活動一覧	iii

平成 28 年度実践プロジェクトから

救護・防災

○マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知 2017	1
○NAGOYA おもいやりジョグ&ウォーク大会	3
○119番ファースト～皆で救う命	5
○防犯・防災ボランティア（みよし市）	7

地域課題

○子ども支援	9
○長野県塩尻市および朝日村における農業体験およびボランティアプログラム	11
○企業との連携による課題解決活動	13
○学生タウン名古屋 Nagoya Town Guide for Student	15
○サツマイモ掘り	17
○三好特別支援学校における体育活動支援	19
○天白区区民まつり	21
○長野県大桑村における地域健康づくり支援	23
○みよし市スポーツ指導者講習会	25

生涯学習

○ともいき市民講座	27
○てんぱくヘルスカレッジ	29
○なごや健康カレッジ「健康學ノススメ 2016」	31
○ニュースポーツフェスティバル 2016	33
○健康栄養プラザ 健康講座本コース	35
○2020 年東京オリンピック・パラリンピックあいち選手強化事業	37

総合型地域スポーツクラブ

○三好ともいきスポーツクラブ	39
----------------	----

地域連携支援プログラム全活動概要一覧	41
--------------------	----

域学連携一覧

- ・通年の実施は冒頭に、その他は実施時期の順番に配列した。連続の場合は初回の実施時期に合わせた。
- ・【 】内の数字は「地域連携支援プログラム全活動概要一覧」の各単位の表番号である。
略称：スポ=スポーツ健康科学部、栄養=健康栄養学部、研究所=共生文化研究所、
プラザ=健康栄養プラザ、センター=健康開発センター、推進室=地域連携推進室
- ・三好ともいきスポーツクラブは学外組織のため末尾においていた。
- ・活動の詳細は、後掲の一覧表を御覧頂きたい。

みよし市との包括協定による活動一覧

○図書館開放（通年）【図書館 1】	47
○防犯・防災ボランティア：東海学園大学 TOMOIKI Official Patrol Squad (TOPS) ちいむともいき（みよし市消防団）の活動（通年）【経営 3】	42
○コミュニティ FM エフエムとよた 「みよしコミュニティーニュース」（通年）【人文 1】	43
○ともいき市民講座 「共生（東海学園の共生き～先師の主張～）と写経」（7月）【研究所 3】	48
「仏教の基礎」（7月）【研究所 4】	48
○みよし市スポーツ指導者講習会（6・11月）【センター10】	49
○バスボムを作ろう（8月）【経営 2】	42
○三好特別支援学校体育活動支援（8月）【スポ 1】	45
○戦略と交渉のアナログゲーム研究会（10～1月）【経営 5】	42
○ともいき市民講座 「日本仏教のあゆみ」（11～12月）【研究所 7】	48
「心を癒す名僧たちの言葉」（11～12月）【研究所 8】	48
○三好ともいきスポーツクラブ（通年）【三好ともいきスポーツクラブ 1～12】	52

名古屋市天白区との包括協定による活動一覧

○図書館開放（通年）【図書館 1】	47
○健康運動俱楽部（名古屋）（通年）【センター2】	49
○子ども支援（通年）【大学 5】	41
○健康栄養プラザ 本コース (4・6・8・9・11・2・3月) 【プラザ 1・4・7・10・13・14・15・16】	50
○天白生涯学習センター連携講座「歌舞伎入門」（春学期）（4・5月）【推進室 5】	51
○健康栄養プラザ スポーツ栄養コース (5・6・7・10月) 【プラザ 2・3・5・11・12】	50
○てんぱくヘルスカレッジ（運動コース）（5～9月）【センター8】	49
○天白生涯学習センター連携講座「平針木遣と歌舞伎」（6月）【推進室 3】	51
○ともいき市民講座「浄土教美術の魅力」（7月）【研究所 1】	48
○ともいき市民講座「法然上人の生涯と思」（7月）【研究所 2】	48
○天白区スポーツ推進委員向け連続講座（7～9月）【センター11】	49
○健康栄養プラザ 子ども栄養コース（8・3月）【プラザ 6・8・9・18】	50
○天白生涯学習センター連携講座 「デジタルストーリーテリングに挑戦！」（8月）【推進室 4】	51
○天白生涯学習センター共催講座「歌舞伎入門」（秋学期）（9～11月）【推進室 6】	51
○さつまいも掘り（10月）【教育 2】	44
○天白区区民まつり（10月）【栄養 1】	46
○ともいき市民講座 「共生（東海学園の共生き～先師の主張～）と写経」（11～12月）【研究所 5】	48
○ともいき市民講座「仏教とは何か」（11～12月）【研究所 6】	48
○天白介護フェスタ（12月）【栄養 3】	46
○食で支える明日の元気（3月）【プラザ 17】	50
○公開講座：現地を訪ねるシリーズ第 4 弾 「仏像鑑賞Ⅱ：運慶仏に会いに行く！」（3月）【推進室 10】	51

名古屋市農業センターとの包括協定による活動一覧

○親子で作る Let's 野菜クッキング！（2月）【栄養 4】	46
---------------------------------	----

マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知 2017 医療・救護ボランティア

1. 目的・概要

2012年より実施されている「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」は、名古屋ウィメンズマラソン、名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン、名古屋シティマラソン（ハーフ＆クオーター）の3つの競技が同日に行われる大会で、2017年の出走者合計は37,513名であった。本学では、養護教諭専攻の学生を中心に2014年大会から医療・救護ボランティアとして参加している。

今大会の医療・救護スタッフは総勢1,100名であったが、本学学生等154名がメディカルサポーター（MS）として参加し、17カ所の救護所の受付と救護所利用記録簿のデータ入力、救命・救護活動情報整理、救護所統括補助、病院搬送者の手荷物搬送、10か所のセルフ・ケア・ステーション（SCS）の管理と運営、医療統括本部・ドーム救護本部での統括業務補助を担当した。

学生たちが医師・看護師・救急救命士・トレーナーなどの医療スタッフとともにこれらの活動に参加することは、傷病者の症状の変化や応急手当の実際を学ぶだけでなく、救命救護体制、指揮命令系統を体験でき、協調性、コミュニケーション能力、対応能力などの社会人として必要な様々な資質（人間力）を高めることに役立っている。

なお、本活動における協定書締結、委託金授受はなかった。



2. 担当部局

教職員

石田妙美 東海学園大学教育学部准教授
高橋真実 東海学園大学教育学部助手
野口 宏 東海学園大学教育学部特任教授

(マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知 実行委員会医療部会部会長)

学生

教育学部・養護教諭専攻学生 116名

教育学部学生 4名

人文学部学生 3名

管理栄養学部学生 6名

スポーツ健康学部学生 16名

経営学部学生 1名

学外協力者

本学卒業生等 8名



3. 所見・成果

1) ボランティア説明会 (2017年2月24日・27日(昼・夕)・3月2日の計4回)

2月27日の説明会では、救護所利用記録簿のデータ入力システム（FAMS）の開発者（NTTデータ）2名同席のもと、医療・救護ボランティアのMSの役割、当日の活動などの説明を実施した。特に今大会では、学生がSCSの管理運営をすべて任せられたり、各救護所の救護所統括や情報補助を担当するため、参加者は真剣な表情で説明会を聴き、担当者同士での打ち合わせも行われていた。

2月24日午前中は、生理用品BOX（100個）を作成した。

2) 医療・救護本部、救護所等の準備補助 (2017年3月9日～11日)

大会当日各救護所で使用する物品、掲示物、記録簿等を準備した。また、位置情報検索システム（FUTABA）のデータ確認と修正、システム活用の練習、コース上トイレ借用店の依頼なども実施した。



3) 大会当日（2017年3月12日）の活動および今後の課題

今大会の救護所利用者は801名、SCS利用者15,327名、救急車・救護車搬送25名であった。今回の活動では、例年の救護所受付のほか、救護所統括補助と情報整理の担当、SCSの管理運営、トイレ借用協力店舗へのお礼とトイレ清掃もおこなった。

受付担当学生は所要時間30分でFAMSの約70%を入力し、ほぼリアルタイムに各救護所の利用状況が医療統括本部に報告できた（当日の登録件数789件）。

また、SCSでは昨年の2倍となる1,200本の冷却スプレーを準備したが、3か所のSCSでは大会終了前に使い切ってしまった。さらに、今回は本学学生だけでSCSを運営したため、利用しやすいよう工夫した様子が見られるとともに、利用者数もより正確に把握することができた。

一方、病院搬送者の手荷物を届ける手荷物搬送班の業務は13件あり、最後の学生が本部に戻ったのは18時半であった。手荷物搬送班の連携をスムーズに実施するためにも、次回からは救護本部下に配置すべきではないかと思われた。

最後に、FUTABAは医療統括本部の救命本部で用いたが、途中からは救護本部でも使用し、1例目的心停止事案への医療スタッフ派遣に対し、非常に役立った。今後は、大会当日に出される看板情報など、更なるデータの追加と検索時間の短縮に改良が必要である。ともあれ、本学学生のボランティア活動が、3名の救命を含む801名の救護を滞りなく実施できた背景の一助を担うことができたことは、参加学生の人間力向上に役立ったのではないかと考える。



「119番ファースト～皆で救う命～」動画作品作成

1. 目的・概要

毎年3月に名古屋市で開催される「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」は日本を代表するマラソン大会である。37500人の参加者の中には、競技中に不慮の体調不良に陥るランナーもあり、医療・救護スタッフの対応とともに、バイスタンダーである市民が速やかに119通報を行う必要が求められる。

人文学部武市ゼミは、「マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知 2017」実行委員会医療部会の依頼を受け、緊急時の119番通報の重要性を伝える動画を作成した。出演者として、教育学部石田ゼミの学生と陸上部・長距離の学生が参加した。(協定書・委託金無し)

2. 担当部局

教員

武市久美 東海学園大学人文学部准教授

石田妙美 東海学園大学教育学部准教授

学生

人文学部 武市ゼミ学生 20名(制作者)

教育学部 石田ゼミ学生 15名(出演者)

陸上部長距離 15名(出演者)

「マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知 2017」実行委員会医療部会
名古屋市消防局

3. 所見・成果

2016年11月に、実行委員会スタッフが本学に来校、打ち合わせと企画の検討を行った。構成案を基に絵コンテを作成した後、12月に撮影候補地を下見し、仮撮影を行った。2017年1月に本学三好キャンパスにてロケ(本撮影)を行った。その後、大学スタジオにて編集作業を行い、医療部会と協議し修正を重ね、2月初旬に完成となった。

名古屋市消防局の協力や専門家による医療監修のもと、救護の正しい知識を盛り込みながら、学生のアイデアを生かし、一般の人々にわかりやすく親しみやすい119番通報の仕方をドラマ仕立てで描いた5分の動画作品となった。動画は大会ホームページに掲載され、広く公開されている。

すべての作業を学生が主体となり、制作者も出演者もすべて実行委員会スタッフと連絡を密に取りながら進めた。学生にとってなじみのある大きなスポーツイベントに関する動画作品を制作すること、インターネットで社会に公開されることなど、本プロジェクトを通じて、学生の動画制作に関する技術やチームワークの向上だけでなく、動画を作る上でのモラル、社会的責任など多くの学びにつながった。

マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知 公式HP

<http://marathon-festival.com/medical/>

本学ガクプログ

<https://www.tokaigakuen-u.ac.jp/academics/news/detail.html?id=346>

撮影の様子 2017年1月4日 三好キャンパスにて



「119番ファースト～皆で救う命～」 YouTube <https://youtu.be/JJNr5gb1n0g>

防犯・防災ボランティア：東海学園大学 TOMOIKI Official Patrol Squad（通称：TOPS）・ちいむともいき（みよし市消防団 東海学園大学機能別分団）の活動

1. 目的・概要

TOPS の活動内容は、従来、大きく 5 つの分野で活動している。1 つ目は毎週実施している地元小学校（対象小学校：2 校）下校時見守りパトロール活動、2 つ目は防犯体験型教室（BO—KEN あいち）の開催活動、3 つ目は防犯広報の活動、4 つ目は児童被害者防止対策における通報を行うサイバーパトロール活動、5 つ目は地域連携に貢献できる活動である。

「ちいむともいき」としての活動は、みよし市内での地域密着的活動に限定（みよし市の要請があれば、みよし市外での活動も実施可能）している。このため、みよし市消防団東海学園大学機能別分団としての基本的活動は大きく 4 つで、それは①入団式（4 月第 1 週日曜日実施）、②水防訓練（5 月実施）、③防災訓練（8・9 月実施）、④出初・観闘式（1 月 4 日以降の最初の日曜日実施）である。これ以外の活動としては、みよし市行政区等からの依頼で地域連携に貢献できる活動にも参加をしている。

協定書：みよし市包括協定、委託金：無し

2. 担当部局

教員 加藤實 東海学園大学経営学部教授

学生 加藤ゼミ生（TOPS 48 名、ちいむともいき 30 名）

3. 所見・成果

(1) TOPS の活動

基本は、「毎週 3 日間（水曜日・金曜日は三好ヶ丘小学校、木曜日は黒川小学校）下校時見守りパトロール活動」の実施に置いている。防犯に天候不順は関係ないことから、雨天でも実施（午後 2 時 50 分から午後 4 時までの間で実施）している。また、適時、青色回転灯装備車によるパトロール（みよし市内）も実施している。

下校時見守りパトロール以外の活動は、下記の通りである。

5 月 15 日（日）第 6 回高橋直子杯 ぎふ清流ハーフマラソン大会（岐阜市主催）

5 月 15 日（日）とよた交通安全・防災フェスタ～ミニ版 BO—KEN あいち～（豊田市主催）

6 月 9 日（木）『ロックの日』防犯イベント（豊田警察署主催）

7 月 30 日（土）31 日（日）第 3 回きら☆キッズおしごとチャレンジ～ミニ版 BO—KEN あいち～（愛知県警察本部生活安全部要請）

8 月 3 日（水）ミニ版 BO—KEN あいち（上原地区）（豊田警察署主催）

8 月 9 日（火）ヤング・ボランティア・ワーカス 2016（愛知県警察本部生活安全部主催）

9 月 4 日（日）防犯教室（名古屋市守山区役所・守山警察署主催）

9 月 6 日（火）大学生向け防犯スクール講演編（事例発表含む）（愛知県県民生活部主催）

9 月 12 日（月）防犯スクール（尾張地区）（愛知県県民生活部主催）

10 月 19 日（水）児童サイバー対策講話（愛知県警本部生活安全部・昭和警察署主催）

10 月 23 日（日）第 1 回 なっ得！安全安心フェア～交通安全・防犯・防災を楽しく学ぼう！～（名古屋市守山区役所・守山警察署・名古屋市消防局守山消防署共催）

11 月 5 日（土）6 日（日）12 日（土）13 日（日）香嵐渓もみじ祭り（豊田市足助観光協会主催）

11月12日（土）名古屋市中区こどもまつり（名古屋市子ども会連合会主催・名古屋市共催、愛知県警察本部生活安全部要請）
11月23日（水）BO—KEN あいち in イオン大高（愛知県警察本部生活安全部主催）
11月30日（水）年末の安全なまちづくり決起大会（豊田市・豊田警察署共催）
12月8日（木）年末特別警戒出発式（青パト）（みよし市・豊田警察署共催）
12月10日（土）少年の立ち直り支援（守山警察署主催）
12月11日（日）第2回 なっ得！安全安心フェア～交通安全・防犯・防災を楽しく学ぼう！（名古屋市守山区役所・守山警察署共催）
12月14日（水）サイバー防犯ボランティアによる児童被害防止対策研修会（愛知県警察本部サイバー犯罪対策課主催）
2月5日（日）安心安全なまちづくり講座（愛知県県民生活部主催）
3月12日（日）きら☆キッズおしごとチャレンジ～ミニ版 BO—KEN あいち～（愛知県警察本部生活安全部要請）

[実績] 平成28年11月22日 警察庁生活安全局情報技術犯罪対策課長より感謝状を受ける。
平成29年1月8日 守山警察署長より感謝状を受ける。
平成29年1月11日 豊田警察署長より感謝状を受ける。
平成29年2月1日 愛知県警察本部生活安全部長より感謝状を受ける。

なお、平成28年度実施の児童被害防止サイバーパトロール活動に対する貢献が認められて学生10名が個人として愛知県警察本部生活安全部長より感謝状を受ける。（平成29年5月19日授与式）

(2) ちいむともいき（みよし市消防団 東海学園大学機能別分団）の活動

4月3日（日）みよし市消防団 入団式
5月15日（日）みよし市水防訓練
7月23日（土）三好丘夏祭り（三好丘行政区主催）
8月21日（日）みよし市三好丘行政区防災訓練
8月27日（土）みよし市防災訓練
9月4日（日）みよし市三好行政区防災訓練
10月13日（木）尾三消防本部主催の集団救急事故対応訓練（東海学園大学キャンパス）
10月30日（日）三好丘フェスタ（三好丘行政区主催）
11月6日（日）みよし市産業フェスタ
11月28日（月）愛知県消防学校一日入校
12月6日（火）障がい児・者の避難方法についての意見交換会（みよし市）
1月8日（日）みよし市消防団 出初式・観闘式
2月21日（火）尾三消防本部主催の鉄道事故対応訓練（三好ヶ丘駅）
3月4日（土）防災イベント（イオンモール三好）
3月12日（日）東海市学生消防交流会（東海市消防本部主催）
3月12日（日）消防団員の意見発表会（内閣府消防庁主催）
[実績] 平成29年3月12日 派遣学生が消防庁長官賞を受賞する。
平成29年1月8日 みよし市長より6年間の実績を評価され、初めて消防分団への感謝状が授与された。

子ども支援（学習サポート・原小学校トワイライトスクール）

1. 目的・概要

学習サポートは様々な要因で充分学習できない環境の子どもたちを地域で学習支援する名古屋市天白区独自の事業で平成27年9月から原学区と平針南学区で実施している。本学の学生（27年度は教育学部5名とスポーツ健康科学部1名、28年度は教育学部7名・人文学部1名・スポーツ健康科学部卒業生1名）がシフトを組、毎週土曜日午前に3名ずつ有償ボランティアで参加・協力している。

トワイライトスクールは異学年の小学生が遊んだり、学んだりすることにより自主性・社会性・創造性を育むことを目的に小学校の施設を活用して実施されている事業で、名古屋キャンパス近くの名古屋市立原小学校へは、大学で参加者を月毎にとりまとめ（1日最大8名）報告し、相互理解を深め信頼関係を築いてきた。とりまとめは平成21年度から。月曜から金曜日の授業後及び土曜日が活動日。

いずれの事業も天白区との包括協定のひとつと捉えている。

2. 担当部局

CDC教職担当で学生の希望を受付、地域連携推進室でとりまとめ、関係各所（学習サポートは天白区民生子ども課・学区の民生委員、トワイライトスクールは原小学校）へ連絡・報告している。

3. 所見・成果

教職課程を履修し教員を目指す学生にとっては、いずれも事業も教育実習以外で直接児童とふれあえる貴重な実践活動の場となっている。学習サポートでは、教えるためのオリジナルテキスト作成など参加する学生同士での連絡や協力も必要であり、学生自身が小学校の学習内容を学び直す機会にもなっている。生活困窮家庭の児童だけでなく、片親や外国人の子女など、問題を抱える児童たちに学習を教える難しさを学生は実感していると思うが、経験することにより学生が成長していく機会にもなっている。

毎日50人から60人くらいの1年生から6年生が毎日参加している原小学校トワイライトスクールには、1日8名を限度に教育学部の学生がボランティア参加・協力している。学習の機会より、学生たちには遊びや運動を求められている。

ともに、教員希望の意欲を高めることにつながり、教員採用試験の結果に表れてきている。

平成28年度「天白区学習サポート参加学生数一覧表」

日付	曜日	人数(名)		小計
		原学区	平針南学区	
4月16日	土	2	0	4名
4月23日	土	2	0	
5月14日	土	3	1	9名
5月21日	土	3	2	
6月4日	土	2	2	18名
6月11日	土	3	2	
6月18日	土	3	2	
6月25日	土	2	2	
7月2日	土	2	2	
7月9日	土	3	1	
7月16日	土	3	2	
7月23日	土	3	2	
8月6日	土	1	2	
8月20日	土	3	2	
8月27日	土	3	2	
9月3日	土	3	2	
9月10日	土	3	1	
9月17日	土	3	2	
9月24日	土	1	2	
10月1日	土	3	2	
10月8日	土	2	2	
10月15日	土	3	2	
10月22日	土	3	2	
11月5日	土	3	2	
11月19日	土	3	1	
11月26日	土	3	2	
				14名

平成 28 年度「名古屋市立原小学校トワイライトスクール参加学生数一覧表」

日につき	曜日	人数 (名)	小計	日につき	曜日	人数 (名)	小計	日につき	曜日	人数 (名)	小計	日につき	曜日	人数 (名)	小計
4月1日	金	1	38 名	7月1日	金	4	45 名	10月3日	月	1	48 名	1月5日	木	2	31 名
4月4日	月	2		7月4日	月	5		10月4日	火	1		1月11日	水	8	
4月5日	火	1		7月5日	火	2		10月5日	水	8		1月12日	木	5	
4月6日	水	1		7月6日	水	5		10月6日	木	5		1月13日	金	1	
4月7日	木	4		7月7日	木	5		10月7日	金	2		1月14日	土	2	
4月8日	金	3		7月11日	月	7		10月12日	水	8		1月16日	月	4	
4月9日	土	1		7月12日	火	2		10月13日	木	4		1月17日	火	2	
4月11日	月	2		7月13日	水	7		10月14日	金	6		1月18日	水	2	
4月12日	火	5		7月14日	木	6		10月18日	火	2		1月19日	木	3	
4月13日	水	3		7月21日	木	2		10月21日	金	8		1月26日	木	1	
4月14日	木	2		8月1日	月	5	22 名	10月26日	水	3		1月27日	金	1	
4月18日	月	5		8月3日	水	3		11月1日	火	1	17 名	2月1日	水	8	20 名
4月20日	水	8		8月4日	木	6		11月2日	水	4		2月2日	木	2	
5月2日	月	5	12 名	8月8日	月	3		11月7日	月	3		2月3日	金	8	
5月6日	金	1		8月9日	火	3		11月8日	火	1		2月6日	月	1	
5月9日	月	6		8月10日	水	2		11月9日	水	8		2月16日	木	1	
5月10日	火	6		8月12日	金	2		11月10日	木	8		2月17日	金	6	
5月11日	水	4		8月16日	火	2		11月11日	金	4		2月21日	火	4	
5月12日	木	4		8月19日	金	2		11月12日	土	2		2月22日	水	3	
5月16日	月	5		8月22日	月	1		11月16日	水	2		2月23日	木	1	
5月17日	火	6		8月23日	火	3		11月17日	木	4		2月24日	金	3	
5月18日	水	8		8月25日	木	2		11月18日	金	2		3月1日	水	3	31 名
5月19日	木	8		8月26日	金	1		11月21日	月	1		3月2日	木	1	
5月20日	金	2		8月31日	水	3		11月24日	木	7		3月8日	水	4	
5月23日	月	2		9月1日	木	2	31 名	11月29日	火	2		3月9日	木	1	
5月24日	火	1		9月2日	金	4		12月1日	木	7		3月10日	金	3	
5月26日	木	2		9月5日	月	2		12月5日	月	2		3月13日	月	6	
5月30日	月	3		9月7日	水	2		12月6日	火	1		3月14日	火	3	
6月2日	木	3		9月12日	月	2		12月7日	水	5		3月16日	木	1	
6月6日	月	7		9月13日	火	3		12月8日	木	3		3月21日	火	4	
6月7日	火	4		9月14日	水	2		12月9日	金	6		3月23日	木	2	
6月9日	木	3		9月15日	木	1		12月12日	月	1		3月29日	水	3	
6月13日	月	8		9月20日	火	2		12月13日	火	4		49 名			
6月14日	火	3		9月21日	水	8		12月14日	水	4					
6月15日	水	8		9月28日	水	3		12月15日	木	7					
6月16日	木	7						12月16日	金	1					
6月20日	月	3						12月19日	月	2					
6月22日	水	2						12月21日	水	2					
6月27日	月	3						12月22日	木	3					
								12月26日	月	1					

長野県塩尻市および朝日村における農業体験およびボランティアプログラム 2016

1. 目的・概要

東海学園大学人文学部ほしのゼミ・谷ゼミ・教育学部小島ゼミは、2013年度より長野県塩尻市および朝日村をフィールドとして、塩尻市では農業体験活動、朝日村では造形ワークショップやマンガ講座を行ってきた。また、学生はそのスタッフとしての運営ボランティア活動に参加した。

活動の目的は地域への貢献と学生の成長の両面である。まず、大学生が訪問してイベントを行うことで子どもや地域の人々との交流、農業体験を通して地域の活性化に貢献し、さらに学生が①農村や農業、自然の大切さを理解し、②心身の健康を高め、③キャリア意識等を培うこと、が目的である。

具体的な活動内容は、各教員のゼミ等を通じて募集した学生が教員とともに考案して行ってきた。学生が自ら主体的に考えて農業体験を行ったり、企画運営を行うことは、彼らの企画力や実行力を身に着けると同時に、自己効力感を高めると考えられる。また、これらの成果については質問紙および面接調査による検証が行われており、野外教育学会や本学の紀要において発表され、こういった活動の意義を検証し、その価値を改めて再認識する取り組みがなされている。

2016年度の主な活動内容として、6月8日に学内にて活動説明会（担当：谷、小島、ほしの）、6月12日に塩尻市にて小豆種蒔きの農業体験（担当：谷、小島、ほしの）、8月10・11日に朝日村造形ワークショップ（担当：小島）及び塩尻市にて野菜収穫等の農業体験（担当：谷、小島、ほしの）、10月1・2日に朝日村マンガ講座（担当：ほしの）及び塩尻市にてブドウ収穫等の農業体験（担当：谷、ほしの、小島）、10月9日に大学祭での野菜販売（担当：谷、ほしの、小島）を行った。

2. 担当部局

教職員

小島雅生 東海学園大学教育学部准教授

ほしの竜一 東海学園大学人文学部准教授

谷伊織 東海学園大学人文学部准教授

学外協力者

柳沢正喜 長野県朝日村教育長

山口純平 朝日村教育委員会・朝日村公民館 社会体育担当 主任 公民館主事道の駅

小澤博子 JAみなみ信州 女性部部長

協力機関

朝日村教育委員会・朝日村子育て支援センター・朝日村わくわく館

3. 所見・成果

朝日村において、教育学部の小島雅生が主催する造形ワークショップは、地域にとっても夏の恒例行事となりつつあり、2016年度も教育学部教育学科の小島雅生ゼミ、人文学部心理学科の谷伊織ゼミ、人文学科ほしの竜一ゼミ学生と教員合計22名で訪れ、地域の方々との交流、活動を行った。2016朝日村造形ワークショップ〈朝日の自然から生まれる「枝と糸のまきまきアートPart3」〉として、朝日村で枝素材を収集し、朝日村中央公民館で、朝日村の子どもと大人56名と本学生で造形ワークショップを実施した。参加した学生は、造形活動を通して地域の方々と交流することによって、積極的な人とのかかわり、コミュニケーション能力を培うことができた。



人文学部のほしの竜一が主催するマンガ講座も秋のイベントとして子どもや大人を集めている。「親子でたのしく描こう！マンガ教室」として、地元のマンガ好きやマンガを描いてみようという親子が15名程参加し、本学生と交流しながらマンガ教室を楽しんだ。朝日村産業振興課、朝日村教育委員会、朝日村子育て支援センター、朝日村わくわく館の職員の方にも好評であり、さまざまな側面で協力していただいている。地域振興や教育に貢献していると考えられよう。



また、農業体験においても、地元農家の方々の手厚い段取りのもと、ジャガイモ、トマト、ブドウ等の収穫作業を行った。農作業を通して、地域の人々と関わり、農村・農業・自然の大切さを理解し、困難な作業を体験しながら、心身の健康を培うことができた。

いずれの活動についても、学生にとって有意義なものとなった。参加者数も全ての企画において、ほぼ予定通りの数であった。朝日村、塩尻市の協力者からも、次年度以降もぜひ継続したいという意見があり、2017年度も継続中である。



企業との連携による課題解決活動

1. 目的・概要

この取り組みは、学生が経営学を机上の学びで終わらせるのではなく、実践を通じて深く理解することを目的としている。一方、企業は学生のアイデアを取り入れることで、これまでになかった新たな価値を享受でき、大学と企業が Win・Win の関係を構築できる活動である。

取り組みの概要は、学内で事前にビジネスモデルの構築、新商品の開発方法など、テーマに応じた手法を学び、練習を通じて習得する。そして後日、連携先企業へ訪問して会社説明（経営理念、自社の強み・弱み、企業の取り組み、企業の抱える問題など）を受け、現地で現状を確認する。その際、より理解を深めるために、経営者や社員と意見交換をして問題点と一緒に考える場を設けている。その後、学内に戻り、習得した手法を使った現状分析や課題の明確化、新たな提案などを検討して報告内容をまとめ、最終報告会で発表する。

この取り組みによって理論と実践の融合を実現できるだけでなく、学生は経営者の考えに直接触れたり、企業の抱える問題を解決する困難さを経験したり、学生の基礎的能力の養成に加えて、経営者マインドの醸成に期待できると考える。

協定書：無、委託金：無

2. 担当部局

教員 山田裕昭 東海学園大学経営学部准教授

学生 3年ゼミ生 12名

3. 所見・成果

2016 年度は、愛知県犬山市にあるサンパーク犬山と連携し、新たなビジネスモデルの構築に取り組んだ。サンパーク犬山は、大浴場、レストラン、スポーツクラブ、大小宴会・会議室などを併設した宿泊施設である。

ビジネスモデルの整理・構築方法を学んだ後、2016 年 4 月 20 日（水）に事業内容や経営状況の確認と施設見学を通じて、サンパーク犬山の現状把握に努めた。課題解決に取り組んだ事業は、スポーツジム部門、レストラン部門、宿泊部門の 3 部門で、学生は各部門の詳細な活動内容をヒアリングしたり、実績データの不明な点を質問したり、疑問点の解消に努め、複合型宿泊施設の経営に対する知見を深めた。その後、学内で新たなビジネスモデルの提案に向けたコンセプトを明確にし、ターゲットの選定や顧客へ提供する価値について検討した。

数ヶ月の検討を終え、最終報告会を 2016 年 7 月 20 日（水）に開催した。第 1 グループは、学生向け宿泊プランを提案した。学生に人気のバーベキューや花火などが楽しめるプランに加えて、文化・歴史を探索したり、陶芸を楽しんだり、文化芸術を取り入れたプランを提案した。第 2 グループは、レストランプランを提案した。近隣のレジャー施設へ遊びに出かけた家族連れの帰宅客をターゲットとした仕組みや、スポーツジムへ通う高齢者向けヘルシーメニューなど、すぐに実践できるプランを提案した。第 3 グループは、高齢者向けに提供されているスポーツジムを若者にも展開するプランを提案した。近隣の中学校や高校の運動部向けにトレーニング教室を開催したり、サプリメントの活用講座や回数券方式などを採用したり、地域と連携した工夫のあるプランであったが、経営者からは既存顧客である高齢者と若者との関係性の問題が指摘された。

この取り組みを通して、学生に問題発見応力や問題解決能力など基礎的能力が徐々に身についてきたと感じる。今後もこの取り組みを通した学生の成長に期待したい。



図1 事業内容説明会



図2 施設見学



図3 既存ビジネスモデルの中間報告会



図4 新たなビジネスモデルの検討



図5 新たなビジネスモデルの最終報告会



学生タウン名古屋：NAGOYA TOWN GUIDE for STUDENT

1. 目的・概要

名古屋市は大学・短期大学の学生数は政令指定都市中第2位、全国でも大学・学生の多い都市である。

平成26年10月1日に策定された「名古屋市総合計画2018」で、施策34「若い世代が学び、遊び、働くまちをつくる」が掲げられており、”若者の活力による魅力あふれるまちづくり”、”大学と地域の連携によるまちづくり”をめざしている。少子化や他地域への学生流出を防ぐために、「学生タウンなごや推進ビジョン」が定められた。「学生タウンなごや推進ビジョン」では、「若い世代が、学び、遊び、働くまち」を実現し、学生から選ばれるまちづくりをすすめるため、大学・地域・企業・行政が互いに共有し一体となって取り組む基本目標や、その方向性をしめしている。

上記を実現する取り組みの一つとして、名古屋地域の現役大学生と名古屋市との協同による「学生タウンなごや」が発行された。これは、名古屋市で過ごす学生ライフやまちの魅力を伝える広報冊子であり、大学進学を検討している高校生と保護者の方々に、名古屋を「学びに行くまち」としてアピールするものである。

2. 担当部局

- ・名古屋市総務局企画部大学政策室
- ・「学生タウンなごや」学生編集委員（総勢23名）

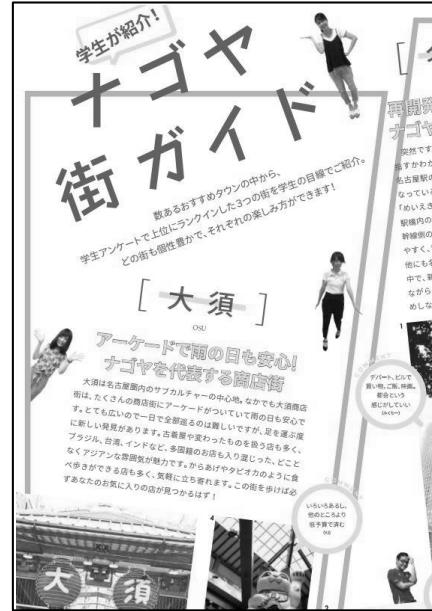
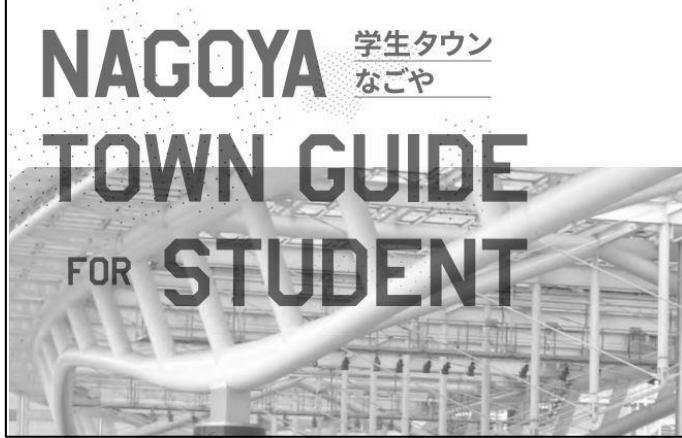
東海学園大学、愛知大学、名城大学、名古屋音楽大学、名古屋学院大学、愛知みずほ大学、南山大学、堀山女子学園大学、愛知学院大学、大同大学、同朋大学、名古屋市立大学の各大学から1名～数名

東海学園大学からは編集委員として人文学部人文学科から1名（村主ゼミ 3年生）が参加。

編集委員のサポートとして他に写真撮影協力（3名すべて人文学科）、アンケート協力者 10数名が協力した。

3. 所見・成果

「NAGOYA TOWN GUIDE for STUDENT:学生タウンなごや」はA4版、総カラー印刷、総ページ20ページ（表紙、裏表紙含む）冊子である。今回が第一号であり、以降は隔年での発行が予定されている。内容は、名古屋市内にある各大学のキャンパス所在地マップ、学部系統別マトリックス、働くナゴヤ（就職活動情報）等のデータ部分と、学生による学生生活レポート、名古屋市内の学生目線によるタウンガイドとグルメ情報、名古屋近郊のレジャー、旅行案内、名古屋の文化や歴史を伝える文化面等充実した内容になっている。



概要と電子版は以下のサイトから参照が可能である。

- ・名古屋市ホームページ内 「学生タウンなごや「NAGOYA TOWN GUIDE FOR STUDENT」」

<http://www.city.nagoya.jp/somu/page/0000087860.html>

- ・電子版 URL

http://www.city.nagoya.jp/somu/cmsfiles/contents/0000087/87860/nagoya_town_guide_for_student.pdf

東海学園大学人文学科3年が担当したのは、「ナゴヤ街ガイド」の記事で、大須地区をレポートしている。単なる街の紹介にとどまらず、執筆者以外の学生の意見を書き出しコメントのスタイルで取り入れて書いている。

編集委員の学生は、本冊子制作を通じて他大学の学生との交流、編集指導の社会人との交流と、協同して働く機会に恵まれ、その後の就職活動の糧ともなるような貴重な経験をすることができたと述べている。

今後の課題としては編集委員募集時に、人数その他の条件など事前の情報入手が迅速に行われ、タウン誌等の編集・出版等に興味のある学生を1名以上参加できるように手配することである。今回は大学への依頼（学生支援センター）から応募締め切りまでの時間が非常に短く、様々な条件等が確認できなかつたことから、編集委員としての参加が1名となった。他大学では数名の参加者がいたことから、1名に絞る必要がないのであれば、数名の編集委員を派遣することで学生のチャンス拡大ができればと考える。

サツマイモ掘りプロジェクト

1. 目的・概要

「里山」は高等学校生物の生物多様性教育のキーワードの1つである。里山は自然と人間生活の交わるところで生じる自然と人間の運命共同体である。たしかに、本学のある天白区は戦後そのような歩みの地区である。天白公園や名古屋市農業センターにその面影が散見する。現在の天白区は中堅都市の一画を占め、学生、若者が生き生きと活動する街である。現代の生物多様問題も含め、学生と保育園児がサツマイモ栽培、タマネギ栽培を通して交流することは多岐に渡り意義がある。①学生にとっても、野菜が日光、水、肥料から出来るのは驚きであり、そのことを通して幼児と交流できることは、幼児の特性を理解のために有効である、②幼児にとっては、日頃の園庭以外で、あまりしらない青年期の若者に接することは、人間理解の点からも大きな意義がある。③そして幼児、大学生ともに野菜を通して、心を通じ合えることは、素敵な地域、素敵な人たちといっしょに、これからも生産的に生きて行こうという生きがいを与える。このことは、本学の共生（ともいき）精神に通じればとてもうれしく思う。

2. 担当部局

指導教員：横井一之 東海学園大学教育学部教授

・学生が担当したこと

タマネギ取りについては、H27.11.24. 苗植え(3年生9名)、H28.5.13. 取入れ(あおぞら保育園児約25名、4年生9名)、取入れに関しては、学生が子どもを畠まで誘導し、取方を指導した。サツマイモ掘りでは、H28.6.7. 苗差し(3年生7名)、H28.10.18. サツマイモ掘り(あおぞら保育園児約35名、2年生2名、4年生5名)、参加学生はイモが取りやすいように活動の前に、全員で蔓を刈り取った。そして、子どもの力でもイモが取り出せるように、土をスコップで柔らかくした。その後、子どもを畠に誘導して、サツマイモ掘りが始まった。子どもは1畠に6人ずつ並び、学生の誘導で土からサツマイモを掘り出す。土が固いと、スコップをもった学生が土を緩める。保育者をめざす学生にとって、サツマイモを手にしたときの子どもの笑顔は何物にも替えられない宝となる。

3. 所見・成果

タマネギ取りもサツマイモ掘りも収穫物は後に保育園で食べるという。子どもと学生が、野菜を囲みこの食に感謝する。昨年、別の機会にこの畑に残ったサツマイモを掘った1年生の学生に感想を求めた。①学校教育専攻1年生男子Y20「秋の代表だから、いい思い出になっている。次もし薩摩芋掘りをする時には、こないだよりたくさん取り、大きいのを収穫したい。」②学校教育専攻1年生女子M10「家で薩摩芋掘りをして祖母と一緒に鬼まんじゅうを作りました。鬼まんじゅうは過程がたくさんあり、大変だと思いました。一度、水にさらしたり、小麦粉と砂糖の配分を間違えてはいけないことなど、料理の難しさを感じました。今日は、蒸した芋はちょっと塩味が効いていておいしかったです。」③保育専攻1年生男子M15「焼き芋はとても美味しかった気がする。用意された芋で、自分が焼いた訳ではないはずなのに、今でも達成感を感じたように記憶しているのは、先生方のお蔭なんだろうと感じた。」と書いてくれた。こんなことを、子どもが大きくなつて思ってくれたらとこの活動を続けている。

実は、タマネギとサツマイモは肥料の必要量で機嫌が合わない。タマネギの要求は、サツマイモには多過ぎる。あまり大きなタマネギは取れない。でも、子どもは「大きなタマネギ」とほめてくれる。



図1 「おいもとれたよ」「大きいね」

三好特別支援学校における体育活動の支援

1. 目的・概要

- 1) 高等部ウォーキング部の夏期休暇中のポールウォーキングサポート
- 2) 高等部マラソン同好会の夏期休暇中の練習サポート
- 3) 小学部リズム運動（授業）のサポート

〈三好特別支援学校長から東海学園大学学長宛の依頼状あり、委託金なし〉

三好特別支援学校から本学への依頼に基づき、上記3種類の体育活動に対して、学生主体のサポート活動を行った。場所はいずれも三好特別支援学校のグラウンドおよび、教室や廊下を利用して行った。

活動の概要

1) ウォーキング部のポールウォーキングサポート

8月3日～29日の間に計6回のサポートを行った。活動時間は9時半～11時までの1時間半で、最初に生徒達が自主的に準備運動を行い、その後グラウンドでポールを使った基本的な歩き方を練習した。休憩の後、グラウンド周囲の遊歩道を利用してポールウォーキングを行った。学生は生徒と一緒に歩き、適宜アドバイスを行った。なお、雨天時には教室および校舎内の廊下を利用して行った。

2) マラソン同好会の練習サポート

8月26日および29日に計2回のサポートを行った。活動時間は9時～11時までの2時間で、準備運動の後、ミニハーダードルを利用した素早いステップ練習や、走りながら指定の場所にボールを置いたり、置かれたボールを拾い上げるなどのコーディネーション系のトレーニングを行った。その後は、学生が生徒に伴走しながらグラウンドのトラックを周回するランニングを行なった。

3) 小学部リズム運動のサポート

6月27日、9月26日、11月28日、12月12日に計4回のサポートを行った。活動時間は特別支援学校の5時間目の授業時間（13時～13時40分までの40分間）であった。1回目と2回目のサポートでは本ゼミ生がリズムダンスを創作し、その振り付けを児童に教えて全員で一緒に踊った。3回目と4回目のサポートでは音楽に合わせたタオルストレッチ体操を考案し、動きを教えたり児童の動きのサポートを行ったりした。

2. 担当部局

スポーツ健康科学部

担当者

- 1) ポールウォーキング：責任者・島岡清（特任教授） 学生延33名（T3および島岡ゼミ生）
- 2) マラソン同好会練習サポート：責任者・金尾洋治（教授） 学生延6名（陸上競技部）
- 3) リズム運動サポート：責任者・田中望（講師） 学生延12名（田中ゼミ生）

3. 所見・成果

知的障害のある生徒達に運動指導を行ったり、コミュニケーションを交わすという実践活動の中では、一人一人能力の異なる相手に合わせて言葉の使い方を考えたり、動作の見せ方に工夫をするなど、相手がより理解しやすいように気を使う必要がある。これらの経験は、教員を目指したり、障害者スポーツ指導員の資格を取得する上で、アクティブラーニングの良い機会となったと考えられる。

【參考資料】

これらの活動は平成 25 年度から継続的に行われており、以下の新聞記事は平成 28 年度および 26 年度の活動について中日新聞に掲載されたものである。

中日新聞三河版 2016.8.30

障害児向けダンス考案



中日新聞三河版 2014.11.19

天白区区民まつり

1. 目的・概要

区民が中心となった実行委員会方式で実施されており、天白区内の様々な団体の活動趣旨を区民に広報することや区民同志の交流等を通して、区民団体の主体性を発揮した地域づくりにつなげていくことをねらいとして開催されている。

東海学園大学をはじめ他の大学や高校の参加もあり何れも区民団体として参加し、参加形態は、模擬店出店と啓発ブースが準備されており、啓発ブースでの参加となった。

住民の方々の様子を知ることや大学の授業内容で地域の方にも周知したい内容をテーマに、学生が地域の子どもから高齢者までの幅広い対象に伝えるための実習の場とすることをねらいとした。具体的には、教育学部ではペットボトルを使用した手作りおもちゃづくり、健康栄養学部では骨密度測定、野菜350g チェック、子ども向け野菜クイズを行った。各々に参加される方々は大変多く、述べ300名の方が利用され、学生と教員等合わせて30名弱が対応した。

この他、天白区社会福祉協議会主催のブースへのボランティアとして約20名の学生が、参加した。

2. 担当部局

【東海学園大学ブース】

《子供向けおもちゃ作り：ペットボトルを利用したおもちゃ》

教員

的場正美 東海学園大学教育学部長／教育学部・教授

木村美知代 東海学園大学教育学部・教授

学生

教育学部学生 10名

《食育：野菜350g チェック／骨密度測定／エプロンシアター》

端井しげみ 東海学園大学健康栄養学部・准教授

長幡友美 東海学園大学健康栄養学部・准教授

尾崎浩平 東海学園大学健康栄養学部・助手

西堀すき江 東海学園大学副学長／健康栄養学部・教授

学生

健康栄養学部学生 17名

【天白区社会福祉協議会ブース】

学生ボランティア 東海学園大学 名古屋キャンパス 20名

【天白区役所地域力推進室依頼の学生ボランティア】

学生生活支援センター経由学生ボランティア 70名

まつり天白2016 主催：天白区区民まつり実行委員会（天白区役所地域力推進室）

天白区福祉区民の集い 主催：天白区福祉区民の集い実行委員会

3. 所見・成果

天白区役所との連携・協力に関する協定の締結により、天白区役所、並びに天白区社会福祉協議会主催の『まつり天白 16・天白区 区民の集い』に多くの学生がいろいろなサポーターとしてボランティア活動に参加した。

イベント参加時には食育啓発活動の1つとして骨密度測定を行い、その結果について学生による栄養指導などを行っているが、どの

イベントに参加しても大人気で、開始時間前に測定希望者の行列ができている。また、野菜の摂取目標量350g測定クイズに関しても、多くの大人の方がチャレンジされた。

おもちゃづくりでは、幼稚園や保育園のちびっこや、小学生たちが多く参加し、手軽なペットボトルを材料にしたおもちゃ作りを楽しんだ。



学生は、住民対応をしていくなかでコミュニケーション能力を高めるとともに、骨密度測定結果をもとにして栄養情報を伝える際に、住民が求めていることに対する確実に応えるための知識・事前学習の重要性を再確認したようである。

長野県大桑村における地域健康づくり支援

1. 目的・概要

地域住民のための健康講座「まめ習慣講座」における講義および運動指導

〈大桑村から東海学園大学への事業委託書あり、委託金あり〉

長野県木曽郡大桑村から本学への事業委託に基づき、地域住民のための健康講座「まめ習慣講座」を共催で行った。場所は大桑村スポーツ公園内の体育館およびグラウンド周辺を利用して行った。

活動の概要

1) 「楽しく歩いて健康づくり」をテーマに平成28年5月27日（金）および11月25日（金）の2回、いずれも14時～15時半の1時間半行なった（講師：島岡清、西田耕太郎）。最初に体育館内で高齢者の健康づくりに関する講義を行った後、基礎的なポールウォーキングの方法を練習し、その後はグラウンド周囲の遊歩道を利用してポールウォーキングを行った。



講義風景 2016.11.25



ポールウォーキングの基本練習 2016.11.25

2) 「スロー筋トレ－カラダ年齢マイナス10歳－」をテーマに平成28年8月25日（木）および9月8日（木）の2回、いずれも18時半～20時までの1時間半、体育館で行なった（講師：梶岡多恵子、島岡清）。最初に身体組成や食事の摂り方に関する講義を行った後、スクワット、腹筋、腕立て伏せなどのスロー筋トレの方法について実習を行った。



椅子を利用したスクワット 2016.8.25



腕立て伏せ 2016.8.25

2. 担当部局

健康開発支援センター

担当者

- 1) ポールウォーキングの指導：講師・島岡清（健康開発支援センター長）、西田耕太郎（地域連携推進室・健康運動指導士、ノルディックウォーク指導員）
- 2) スロー筋トレの指導：講師・梶岡多恵子（教育学部教授）、島岡清（健康開発支援センター長）

3. 所見・成果

平成 21 年度に本学卒業生（人間健康学部）が大桑村職員として就職し、健康福祉部門に配属されたことから、健康開発支援センターが講師派遣という形で地域の健康づくりに協力するようになった。この活動を通じて大桑村と本学との関係が深まり、平成 28 年度からは村から本学への事業委託という形に発展し、4 回の共催講座を開催した。平成 29 年度には 6 回の共催講座開催と規模も拡大している。

【参考資料】

大桑村が作成した講座の参加者募集ちらしを以下に示した。

The image displays four promotional fliers for walking exercise programs in Oyama Village, each featuring a different theme and target audience:

- Top Left (May 27, 2016):** "Walking for Health!!" (歩くで健康づくり!)
Target: Beginner walkers.
Content: Walking for fun and health, basic walking techniques, and a ball-walking session.
- Top Right (August 25, 2016):** "Slow Stretching for a Younger Body! 10 Years!" (スロー筋トレでカラダ年齢マイナス10歳!)
Target: Middle school students and adults looking to improve fitness and reduce fatigue.
Content: Slow stretching exercises, fitness tips, and a focus on waist strength.
- Bottom Left (September 8, 2016):** "Slow Stretching 2nd Round! Younger Body! 10 Years!" (スロー筋トレ第2弾! カラダ年齢マイナス10歳!)
Target: People who feel their body is getting older faster.
Content: Advanced slow stretching techniques, including back and abdominal exercises.
- Bottom Right (November 25, 2016):** "Walking for Health!!" (歩くで健康づくり!)
Target: General public, focusing on autumn health and fitness.
Content: Walking for fun, fitness tips, and a focus on waist strength.

Each flier includes details such as date, time, location (村民体育館), required items (運動靴・上履き), and contact information (TEL: **55-4003). It also features illustrations of people walking and performing stretching exercises.

みよし市スポーツ指導者講習会

1. 目的・概要

「平成 28 年度第 1 回みよし市スポーツ指導者講習会」における講義および実習

「平成 28 年度第 2 回みよし市スポーツ指導者講習会」における講義および実習

〈みよし市体育協会から東海学園大学への依頼状あり、委託金なし、講師料支給あり〉

みよし市と東海学園大学との包括連携協定に基づく事業の一環として、みよし市体育協会・みよし市スポーツ少年団主催の指導者講習に本学が協力した。

活動の概要

1) 第 1 回スポーツ指導者講習会は平成 28 年 6 月 18 日（土）の 17:00～19:55 まで本学三好キャンパスの 5 号館ダンススタジオで開催された。前半は高柳助教が「運動時の水分補給」をテーマに講義を行い、後半は佐戸淳サッカーチームコーチが「スポーツ現場でできるケガの手当」をテーマに、テーピングとアイシングに関する講義と実習を行った



高柳講師による講義風景 2016. 6. 18



佐戸講師による実習風景 16. 6. 18

2) 第 2 回スポーツ指導者講習会は平成 28 年 11 月 19 日（土）の 17:00～19:55 まで本学三好キャンパスの 5 号館ダンススタジオで開催された。佐戸淳サッカーチームコーチが「スポーツ現場でのケガと予防に役立つストレッチ」をテーマに講義と実習を行った。



佐戸講師による講義風景 2016. 11. 19



佐戸講師による実習風景 2016. 11. 19

2. 担当部局

健康開発支援センター

担当者

- 1) 講義「運動時の水分補給」: 講師・高柳尚貴 (健康栄養学部助教・管理栄養士)
- 2) 講義と実習「スポーツ現場でできるケガの手当」: 講師・佐戸淳 (サッカー部コーチ・鍼灸師)
- 3) 講義と実習「スポーツ現場でのケガと予防に役立つストレッチ」: 講師・佐戸淳 (サッカー部コーチ・鍼灸師)

3. 所見・成果

本講座の受講者は地域スポーツクラブの運動指導者や地域のスポーツ推進委員としてみよし市のスポーツ振興に貢献している人たちであり、専門家による講義と実習はスキルアップに役立ったと考えられる。

【参考資料】

みよし市体育協会が作成した講座（第1回スポーツ指導者講習会）の募集ちらしを以下に示した。

**平成28年度第1回
スポーツ指導者講習会受講者募集!**

主催 みよし市体育協会・みよし市スポーツ少年団
後援 みよし市教育委員会・みよし市スポーツ推進委員会
協力 東海学園大学

スポーツ指導者講習会ってなに?
この講習会は、現在スポーツを指導している人や、これからスポーツを指導しようとする人を対象に、スポーツ指導に必要な基礎知識を修得し、指導者としての資質向上を図るために開催します。
第1回は「運動時の水分補給」、「スポーツ現場でできるケガの手当」について学びます。

こんな疑問ありませんか?>

- ・運動時の適切な水分補給とは?
- ・何をどのくらい飲めばいいの?
- ・チーピングってどうやって使えば良いの?
- ・突然のケガが起きた時に対応できる技術を身につけたい。
- ・スポーツでよく発生するケガって何があるの?

**立ちつ知識が
満載だよ★**

【開催日時】
6月 18 日(土)午後 5 時から午後 7 時 55 分まで
(受付・午後 4 時 30 分から 5 時 55 分)

【開催場所】
東海学園大学三好キャンパス 5 号館 2 階 ダンス室

【内容】
運動時の水分補給(講義)
スポーツ現場でできるケガの手当(実技)

【講師】
(1) 高柳 尚貴(東海学園大学 健康栄養学部助教)
(2) 佐戸 淳(東海学園大学 サッカー部コーチ)

【対象】
(1) みよし市体育協会加盟団体、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブの指導者及び役員関係者、カヌー協会指導員
スポーツイベントボランティア
(2) みよし市在住の学生の方でスポーツ指導者になることを希望する者
(3) みよし市在住在勤の一般の方でスポーツ指導者になることを希望する者
【定員】 40 名
【受講料】
対象(1)の者:無料 対象(2)の者:250 円 対象(3)の者:500 円
【申込み】
住所、氏名、年齢、所属、電話番号を明らかにし、**6月 4 日(土)**までに参加費を支払って市体育協会に申し込む。

みよし市体育協会(担当:事務局 大鶴)
電話 :0561-32-8027 フックス :0561-34-6030 E メール :takyo@m3.alta.ne.jp

★スポーツ指導中に起きた事故やケガに対応することは指導者にとって重要な役割となります。正しい知識や技術を習得する事で、安心・安全なスポーツ指導へと繋がるだけではなく、効率的に効果を得ることにも繋がります。この機会に是非、たくさんのご参加お待ちしております。

**平成28年度第2回
スポーツ指導者講習会受講者募集!**

主催 みよし市体育協会・みよし市スポーツ少年団
後援 みよし市教育委員会・みよし市スポーツ推進委員会
協力 東海学園大学

スポーツ指導者講習会ってなに?
この講習会は、現在スポーツを指導している人や、これからスポーツを指導しようとする人を対象に、スポーツ指導に必要な基礎知識を修得し、指導者としての資質向上を図るために開催します。
第2回は「スポーツ現場でのケガと予防に役立つストレッチ」について学びます。

こんな疑問ありませんか?>

- ・ケガを未然に防ぐには?
- ・ストレッチのやり方を知りたい。
- ・スポーツでよく発生するケガって何があるの?

**立ちつ知識が
満載だよ★**

【開催日時】
11月 19 日(土)午後 5 時から午後 7 時まで
(受付:午後 4 時 30 分から 5 時 55 分)

【開催場所】
東海学園大学三好キャンパス 5 号館 2 階 ダンススタジオ

【内容】
スポーツ現場でのケガと予防に役立つストレッチ(講義・実習)

【講師】
佐戸 淳(東海学園大学 サッカー部コーチ)

【対象】
(1) みよし市体育協会加盟団体、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブの指導者及び役員関係者、カヌー協会指導員
ウォーキング協会幹事、スポーツ推進委員、スポーツイベントボランティア
(2) みよし市在住の学生の方でスポーツ指導者になることを希望する者
(3) みよし市在住勤の一般の方でスポーツ指導者になることを希望する者
【定員】 40 名
【受講料】
対象(1)の者:無料 対象(2)の者:250 円 対象(3)の者:500 円
【申込み】
住所、氏名、年齢、所属、電話番号を明らかにし、**11月 5 日(土)**までに参加費を支払って市体育協会に申し込む。

みよし市体育協会(担当:事務局 大鶴)
電話 :0561-32-8027 フックス :0561-34-6030 E メール :takyo@m3.alta.ne.jp

★スポーツ指導中に起きた事故やケガに対応すること、また未然に防ぐことは指導者にとって重要な役割となります。正しい知識や技術を習得する事で、安心・安全なスポーツ指導へと繋がるだけではなく、効率的に効果を得ることにも繋がります。この機会に是非、たくさんのご参加お待ちしております。

ともいき市民講座

1. 目的・概要

「共生文化研究所」は、本学が校是として謳う「共生(ともいき)」の理念と、その基盤となる仏教思想に関する研究を主目的として平成26年に設立された。発足当初から学生のみならず、近隣の一般市民にも広くその成果を伝えたいという趣旨で計画され、翌平成27年度から具体的に設けられたのが標記の市民講座である。初年度の最初の講座は、みよし市の協力により市が名鉄豊田線「三好ヶ丘」駅前に所有する市民のための文化施設「カリヨンハウス」1Fのコラボースペースで実施、その後名古屋キャンパスでも開講し、28年度には同キャンパス内に新設された図書館3Fの一部に設けられた研究所の施設を利用して、先の「カリヨンハウス」との2会場で春と秋にそれぞれ2講座ずつ、合計8講座が開催された。

(講座内容の詳細は、資料の一覧を参照)

2. 担当部局

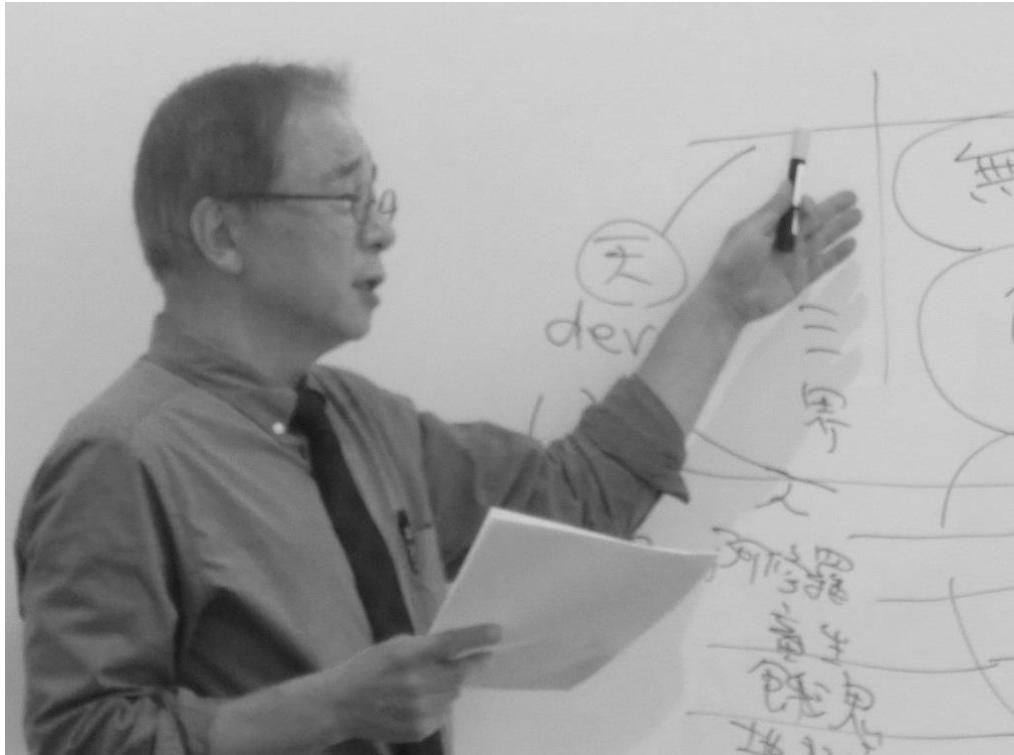
資料の講座担当者欄にあるように、共生文化研究所専任所員と、研究員により実施。

会場の準備等に地域連携推進室の協力をいただいた。

さらに、とくにみよし会場については、みよし市のホームページによる告知や、ケーブルテレビによる現場取材のニュース報道で広報のご協力をいただいている。



講座風景



講座風景

3. 所見と成果

平成 27 年度当初のみよし会場で、當時 10~15 名程度の受講生があり、仏教を中心としたこの分野の知識への関心度の高さを知り、それをうけて開講したため 28 年度もみよし会場は前年同様の盛況であった。それに対して、名古屋キャンパスを会場とした方は、事前告知を含め発信力の弱さが今後の展開に課題となっている。

また、今後は提供する講座内容の充実も継続化のためにはさらなる課題といえる。スタッフの専門性や、受講者のニーズ等の点も考慮して、当研究所が提供できうる特色を持った講座を設定して展開すればよいのではあるが、講座の継続的維持には受講者の質的向上を図る一方、新たな需要に応える必要性もある。そうすると、中長期的展開も視野に入れ、入門的講座と専門性の高いアドバンスコースとも称せるような講座も用意する必要がある。そういう複線的なラインナップを組むことによって、「共生」や「仏教」についての知識を一から学び、次の段階でより深めていくという共生文化研究所が考える社会的使命が完遂できるといえよう。そのためには、本研究所の嘱託研究員をはじめとした外部講師や、専門性を仏教に限らず広い視野で「共生」を論じることができる講座担当者を選定し、より一層の充実を図っていきたい。

てんぱくヘルスカレッジ

1. 目的・概要

てんぱくヘルスカレッジ 一運動コース（東海学園大学）の開催

〈天白保健所長から東海学園大学宛の依頼状あり、委託金なし〉

天白区と東海学園大学との包括連携協定に基づく事業の一環として、天白保健所と本学との協力により、地域の健康づくり・介護予防講座「てんぱくヘルスカレッジ 一運動コース」を行った。

なお、「てんぱくヘルスカレッジ 一運動コース」は区内で 5 コースが同時開催されたが、その内の 1 コースを本学が担当した。

活動の概要

東海学園大学体育館（名古屋キャンパス）と天白公園を利用して、ポールウォーキングを主とする講座を計 10 回行った。開催日時は平成 28 年 5 月 18 日（水）、6 月 15 日（水）、7 月 20 日（水）、8 月 24 日（水）、9 月 12 日（月）、10 月 17 日（月）、11 月 21 日（月）、12 月 19 日（月）、平成 29 年 1 月 16 日（月）、2 月 27 日（月）であり、時間はいずれも 9：45～11：30 である。

講座内容は、最初に体育館内でラジオ体操を行い、その後、ポールウォーキングの基本練習をした後、天白公園に移動し、公園内の周回路や広場を利用してポールウォーキングやポールを利用した筋トレを行った。なお、雨天の場合は体育館内で筋トレやボールを利用したコーディネーション運動を行った。

参加者はおおむね 65 歳以上の地域住民で、各回 50～70 名程度の参加であった。



講座に関する保健師からの説明



ポールウォーキング風景

2. 担当部局

健康開発支援センター

担当者

ポールウォーキングおよび筋トレの指導：講師・島岡清（健康開発支援センター長）、西田耕太郎（地域連携推進室・健康運動指導士、ノルディックウォーク指導員）

3. 所見・成果

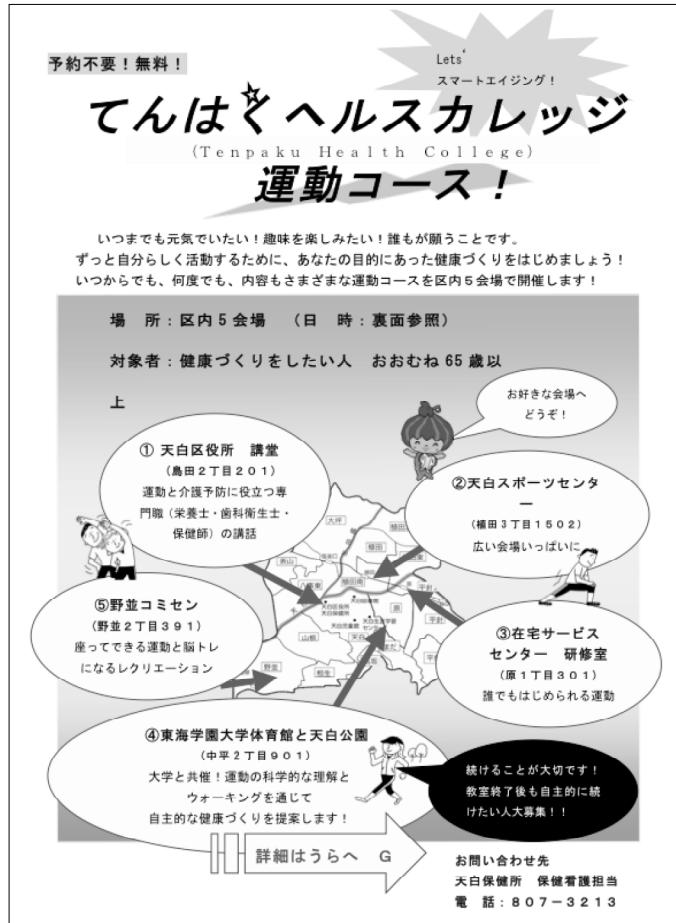
本講座は、講座終了後に参加者が自主的に運動を継続したり、天白区の健康づくり・介護予防事業にボランティアとして参加するための動機付けになることを意図して実施された。

本講座実施中の平成 28 年 10 月に、毎週月曜日の午前中に天白公園を利用してウォーキングを行ったり、筋トレを行ったりする自主グループができ、最初は 10 名程度であったものが現在（29 年 6 月）では、数十名に増えている。また、グループの世話役となっている 10 数名の人たちは天白区の健康づくりボランティア「てんぱく健康づくり隊」にも登録して、地域の健康づくり活動に積極的に参加するよう

になっている。以上のことから、本講座は地域の健康づくり活動としての成果が出始めている。

【参考資料】

天白保健所が作成した講座の参加者募集ちらしを以下に示した。



会場	てんぱくヘルスカレッジ (Tenpaku Health College) 運動コース!				
	①天白区役所 講堂 2階	②天白スポーツセンター 第2競技場	③在宅サービスセンター研修室 原ターミナルビル 3階	④東海学園大学名古屋キャンパス体育館 (正面入り口から右手の建物) と天白公園	⑤野並コミセン
時間 (受付時間)	9:30~11:30 (9:15~9:30)	13:30~15:00 (13:15~13:30)	10:00~11:30 (9:45~10:00)	9:45~11:30 (9:30~9:45)	13:30~15:30 (13:15~13:30)
日時	4月27日(水) 5月11日(水) 6月 7日(火) お休み 8月 2日(火) 9月 6日(火) 10月 4日(火) 11月 1日(火) 12月 6日(火) お休み 平成29年 2月 7日(火) 3月 7日(火)	お休み 5月13日(金) 6月24日(金) 7月22日(金) 8月26日(金) 9月23日(金) 10月28日(金) 11月25日(金) お休み 平成29年 1月27日(金) 2月24日(金) 3月24日(金)	4月12日(火) お休み 6月14日(火) 7月12日(火) お休み 9月13日(火) 10月11日(火) 11月 8日(火) 12月13日(火) 平成29年1月10日(火) 2月14日(火) 3月14日(火)	お休み 5月18日(水) 6月15日(水) 7月20日(水) 8月24日(水) 9月12日(月) 10月17日(月) 11月21日(月) 12月19日(月) 平成29年 1月16日(月) 2月27日(月) お休み	お休み 5月17日(火) 6月21日(火) 7月19日(火) 8月16日(火) 9月20日(火) 10月18日(火) 11月15日(火) 12月20日(火) 平成29年 1月17日(火) 2月21日(火) 3月21日(火)
講師	健康運動指導士 植屋節子	健康運動指導士 水野まゆ美	健康づくりリーダー 木下明美	東海学園大学 健康開発支援センター長 島岡清	健康運動指導士 大野かほり
定員	100人	100人	40人	100人	30人
内 容	運動と介護予防に役立つ専門職(栄養士・歯科衛生士・保健師)の講話を行います。 	広い会場をいっぱいに、体を動かします。全身の筋力アップを目指し、効果的に口もとを防ぎながら行います！	はじめの方でも参加しやすいコースです。座ってできる体操を中心に行なうります。運動は続けることで効果を發揮します。	運動の重要性について科学的な理解を深めました上で、天白公園のウォーキングを中心とした健康づくりを行ないます！運動は続けることで効果を發揮します。教室終了後は自主的に公園体操やウォーキングを続けたい人大勢集！	座ってできる運動を行ないます。脳のトレーニングにもなる楽しいレクリエーションを行ないます！
持ち物	毎回ラジオ体操をします！ 動きやすい服装・運動できる上靴・タオル・水分そして・・・ニコニコ笑顔！				

なごや健康カレッジ「健康學ノススメ 2016」

1. 目的・概要

〈委託契約書あり、委託金あり〉

なごや健康カレッジとは名古屋市と市内及び周辺の大学とが連携し地域介護予防事業の一環として実施している高齢者向け健康づくり事業である（平成 28 年度は 15 大学が参加）。本学は事業開始年度（平成 17 年度）から参加しているが、「健康學ノススメ 2016」は平成 28 年度に実施した「なごや健康カレッジ」の本学の講座名であり、通算 12 回目となる。

本講座では、受講者が各種の運動を行うことで、運動の楽しさや効果を実感し、講座終了後にも自主的に運動を継続できるようになることを主な目的としている。

28 年度は平成 28 年 10 月 6 日～29 年 1 月 19 日までの毎週木曜日午前 9：45～11：15 に、名古屋キャンパス体育館や天白公園を会場として全 13 回実施した。受講者は 65 歳以上の高齢者 33 名であった。

本講座の特徴は、スポーツ健康科学部の学生が運動指導や運営に積極的に関わっていることである。

「健康學ノススメ 2016」の 13 回の講座内容は以下の通りである。

- 1、開講式およびガイダンス
- 2、ニュースポーツ（カローリング）（1）
- 3、若々しいカラダをつくるスロー筋トレをマスターしよう（1）
- 4、ポールウォーキング（1）（基礎編：体育館）
- 5、コーディネーション運動（1）（バランスボール）
- 6、ポールウォーキング（2）（応用編：天白公園）
- 7、若々しいカラダをつくるスロー筋トレをマスターしよう（2）
- 8、ニュースポーツ（スポーツ吹矢）
- 9、講義「口の健康」およびコーディネーション運動（2）（ステップ運動＆ボール運動）
- 10、コーディネーション運動（3）（ストレッチボール）
- 11、ニュースポーツ（カローリング）（2）
- 12、コーディネーション運動（4）（ウォーキング＆ボールを使ったゲーム）
- 13、講義および閉講式

2. 担当部局

健康開発支援センター、地域連携推進室

担当者

講師：島岡清（スポーツ健康科学部特任教授・健康開発支援センター長）、梶岡多恵子（教育学部教授）

天白保健所歯科衛生士、日本スポーツ吹矢協会指導員、本学卒業生（健康運動指導士）

学生スタッフ：スポーツ健康科学部 3 年生 12 名

3. 所見・成果

講座終了時の受講者アンケート調査では、「今までよりたくさん歩くようになった」、「階段をより多く使うようになった」、「筋トレを行うようになった」、「自分の体力に感心を持つようになった」などの項目について多くの参加者が「あてはまる」と回答した。

このことから、参加者の多くが本講座をきっかけとして日常生活で自分の体力を意識し、運動するよ

うになったと推察される。したがって、講座の目的はある程度達成することができたと考えている。

また、学生の参加については多くの参加者が好意的に評価をしてくれた一方で、より主体的に関わることを期待する声もあった。学生自身、実際の健康づくり活動に参加することで、現場における応用力やコミュニケーション能力などの実践力を高めることに大いに役立っている。

【参考資料】

以下に「健康學ノススメ 2016」の講座風景の写真を示す。



カローリング 2016. 10. 13



スロー筋トレ 2016. 10. 20



ポールウォーキング 2016. 10. 27



バランスボール 2016. 11. 10



スポーツ吹矢 2016. 12. 1



ステップ運動 2016. 12. 8



講義「口の健康」 2016. 12. 8



参加者の記念撮影 2017. 1. 19

ニュースポーツフェスティバル 2016

1. 目的・概要

ニュースポーツフェスティバル 2016 におけるバランスボール体験の出展

愛知県レクリエーション協会主催のニュースポーツフェスティバル 2016 において東海学園大学としてバランスボール体験を出展した。〈愛知県レクリエーション協会より謝金の支給あり〉

活動の概要

ニュースポーツフェスティバル 2016 は平成 28 年 10 月 30 日（日）10：00～15：00 に愛・地球博記念公園（モリコロパーク）で開催され、各団体から計 25 種目の出展があった。本学も学生（T 3 所属学生）が主体となってバランスボール体験を出展した。当日は子どもやファミリーなどでぎわい、計 687 名がバランスボールを体験した。



バランスボール風景 1 2016. 10. 30



バランスボール風景 2 2016. 10. 30



バランスボール風景 3 2016. 10. 30



スタッフの記念撮影 2016. 10. 30

2. 担当部局

健康開発支援センター、地域連携推進室

担当者

- 1) 引率者：島岡清（健康開発支援センター長）、榎原仁美（地域連携推進室）、西田耕太郎（地域連携推進室）
- 2) T 3 (Tokaigakuen Trainer Team) 所属学生 48 名

3. 所見・成果

本学はニュースポーツフェスティバルに毎年参加しているが、バランスボール体験の人気は非常に高く、参加者も多い。学生はこの実践を通じてコミュニケーションの経験を積むなど、多くの得るところがあった。

【参考資料】

ニュースポーツフェスティバル 2016 のポスターを以下に示した。

参加無料

25種目のニュースポーツが
無料で体験出来る
年に一度の祭典です。

ニュースポーツ フェスティバル 2016

愛・地球博記念公園駅

※ A・B の裡目は裏面をご覧ください。

A 地球市民交流センター 体育館

B 多目的球技場

リニモで来た人だけの
特典！(おつりタダポイント)

リニモでのお買物は「愛・地球博記念公園駅」
構内カードをちらって、①出札市民交流センター
の窓口へ行って貰えます。
次のドットに貼り付けて貰えます。

本部 事務所

とき

平成28年
10月30日(日)
午前10時～午後3時

ところ

愛・地球博記念公園
(モリコロパーク)

[主催] 愛知県レクリエーション協会

[共催] 公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財團、
公益財団法人愛知ビューティフル都市整備協会、中日新聞社

[後援] 愛知教育委員会、名古屋市教育委員会、公益財団法人愛知県体育協会、
愛知県スポーツ推進員連絡協議会、社会福祉法人愛知県社会福祉協議会、
公益財団法人愛知県老人クラブ連合会、愛知県子どもと家庭連絡協議会、愛知高速交通株式会社

[協力] 愛知県木挽村、愛知県伏見鉄道株式会社

[後援] NEXサンボン、知恵マラヤ、大塚食品(株)、カゴメ㈱、東部丘陵緑地協議会、長陽製業(株)、㈲A-O-F

お楽しみ！ たくさん体験してカードにいっぱい
スタンプをもらおう! 特典がいっぱいだよ!

スタンブラーに挑戦

スポーツ振興
くじ助成事業

スポーツくじ
bic

健康栄養プラザ 健康講座本コース「梅雨時の食品衛生」

1. 目的・概要

概要

平成28年6月25日（土）午後、東海学園大学名古屋キャンパス4号館調理実習室で「梅雨時の食品衛生」というテーマで講義、調理実演および実習を行った。前半は、「食中毒を防ぐには」という内容の講義を行い、後半は、「蒸し暑さを食事で一掃」というテーマで調理実演および実習を行った。参加した受講者は、20名であった。

協定書・委託金は、なし。

目的

前半の講義は、開催時期が6月下旬ということで、梅雨時で細菌性食中毒の発生件数が多くなる時期であったことと、受講者は高齢者が多く、免疫機能が低下してくる高齢者は細菌に対する抵抗性も比較的弱く、食中毒に細心の注意を払っていただきたいという目的から、「食中毒を防ぐには」という内容を行った。

後半の調理実演および実習は、こちらも梅雨時で蒸し暑く、さらにこれから暑さが厳しくなり食欲が低下しやすい時期であり、食欲が低下したときでも食べやすい料理を紹介し、食事を十分にとり暑い夏を元気で乗り越えていただきたいという目的から、「蒸し暑さを食事で一掃！梅パワーで元気な毎日を」という内容で行った。

2. 担当部局

運営担当（健康栄養プラザ担当）：

端井しげみ、東山幸恵、木村幸子、浅井美智（東海学園大学 教員）

学生ボランティア5名（東海学園大学健康栄養学部管理栄養学科の学生）

講義担当：平野義晃（東海学園大学 教員）

調理実習担当：後藤かおり、他アシスタント1名（フードオフィスタブリエ）

3. 所見・成果

平成28年6月25日（土）14時から16時30分に、平成28年度、第2回目の健康栄養プラザ本コースの講座が開催された。「梅雨時の食品衛生」をテーマとして、前半に講義、後半に調理実演および実習を行った。

前半の講義では、梅雨時の食品衛生ということで、梅雨時から夏にかけて発生件数が多くなる細菌性食中毒に焦点をあて「食中毒を防ぐには」というテーマで1時間ほどの講義を行った。この講義では、まず、どの時期に食中毒が多いのか、最近はどの



細菌による食中毒が増えているのかといった食中毒の現在の動向や概要から説明した。つづいて、主要な食中毒原因細菌について、熱に強い細菌・弱い細菌、腸管内で増殖できる細菌・できない細菌といった各細菌の特徴や、細菌が各種食中毒症状を起こすメカニズムについての説明も行った。さらに、細菌の特徴を前提とした食中毒を予防するための食品の保存方法、料理時の注意点などを系統立てて説明し、受講者に食中毒を未然に防ぐ方法を理解していただいた。

後半は、「蒸し暑さを食事で一掃！梅パワーで元気な毎日を」というテーマで、調理実演および実習を行った。料理は、梅肉、かつお、昆布という和食材で作る“万能梅だれ”をベースに、少しずつアレンジを加えた「いかときゅうりの梅わさび和え」、「人参と豚肉の梅ナムル」および「梅だれのぶっかけ素麺」の3品を作った。受講者からの評判は上々で、「簡単で美味しい！」「家でもやってみよう」などの感想が口々に聞かれた。

また、本学健康栄養学部管理栄養学科の学生5名がボランティアとして参加し、準備から調理、片付けまで本講座がスムーズに進行するよう活動した。ボランティア学生はこの活動と受講者との交流を通して、管理栄養士として必要となる調理技術やコミュニケーションスキルなどを身に付けることができた。

本講座を開催することで、近隣の方々に対して講義と実習を通してより健康的な食生活を提案する、という地域貢献ができた。また、本学学生に対しても本講座のボランティア活動を通して、高い教育効果を得られた。



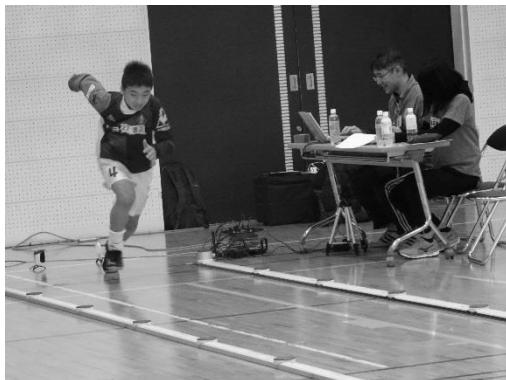
2020年東京オリンピック・パラリンピックあいち選手強化事業 次世代につなぐスポーツ人材育成事業（東海学園大学）

1. 目的・概要

2015年3月、本学は愛知県との間で体育・スポーツ振興および健康づくりの分野において協力するための連携協定を締結した。東京オリンピック・パラリンピックに愛知県ゆかりの選手を多数輩出し、県民の一体感や気運の醸成につなげるとともに、愛知県のスポーツ推進を支える好循環を創出するために愛知県教育委員会が実施する事業の一つが次世代につなぐスポーツ人材育成事業である。平成28年度に、本学ではサッカー競技における県内トップレベルの競技力を有する中学生を対象に「ユースサッカー選手のフィジカル強化の考え方」をテーマとした講義をとおして知識を深め、スプリント力を高める実習を行うとともに、競技力強化に必要な実践力を身に付けるための事業を実施した。なお、本事業は平成29年2月25日（土）13:00～16:15まで本学三好キャンパス5号館の運動生理学実験室およびアリーナで実施した。参加した生徒は県内の中学3年生18名であった。（経費は全て愛知県教育委員会負担）

当日の事業内容は以下の通りである。

- ・講義「ユースサッカー選手のフィジカル強化の考え方」
- ・測定「形態・身体組成、垂直跳、スプリント力（20mタイム）、プロアジャリティテスト（2回の切り返しを含むダッシュのタイム）」
- ・実習「初速を高めるスプリントトレーニング」
- ・測定結果報告



20mダッシュ走の測定風景 2017.2.25



初速を高めるための実習風景 2017.2.25

2. 担当部局

地域連携推進室

担当者

講義および測定：星川佳広（スポーツ健康科学部准教授）

実習：黒須雅弘（スポーツ健康科学部講師）

測定補助：東海学園大学学生 10名

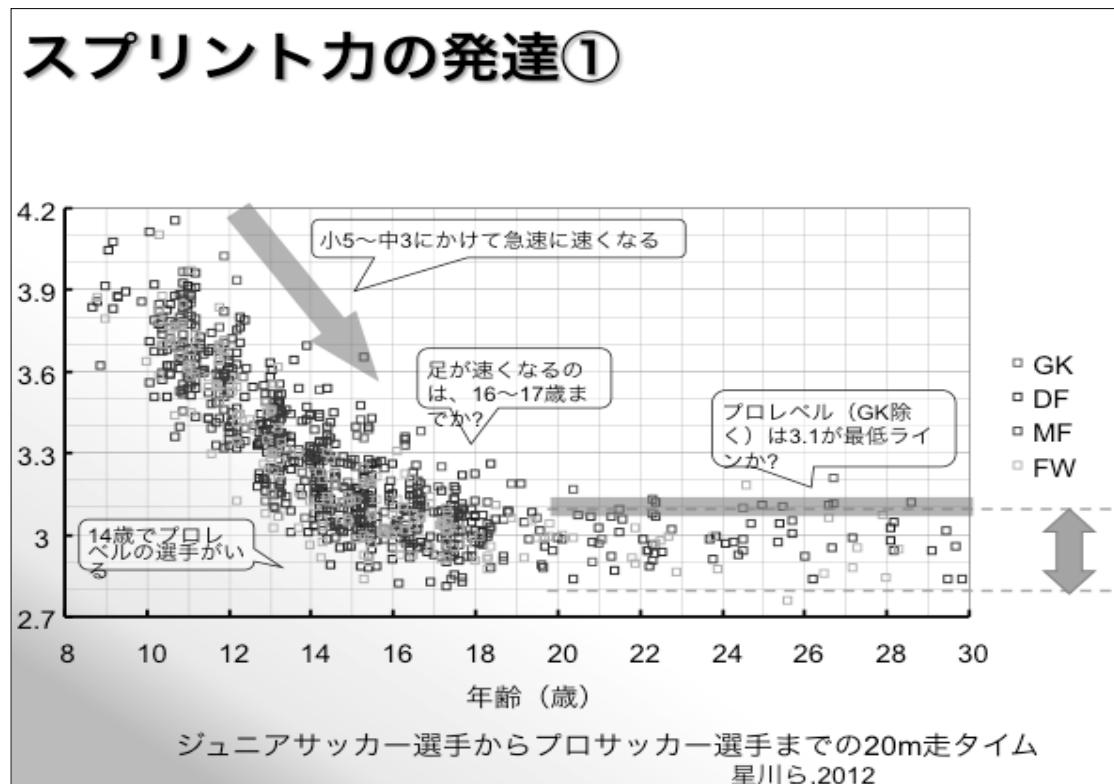
3. 所見・成果

サッカー選手に求められる走力は、短い距離をいかに素早く走るかというダッシュ力である。講義では、ジュニア選手の豊富なデータに基づき、20m走のタイムが、選手として伸びるかどうかと関係の深いことなどを学んだ。その後、実際に20m走のタイムや敏捷性のテストを行い、結果は参加者にフィードバックされた。

ドバックされた。その後、停止状態からダッシュを開始するまでに無駄な動作を減らして、素早く移動する方法などを実習した。参加者は目標にすべき具体的な数値目標や自分の動作の中に無駄な動作があることを学んだことで、トレーニング方法などをより具体的にイメージできるようになったのではないかと考えている。

【参考資料】

講義に使われたテキストの一部と参加者に測定結果をフィードバックするためのカード例を示す。



各年代における20m走のタイム

東海学園大学スポーツ健康科学部		測定日 2017/02/25		
所属	学年	年齢		
みよし市立北中学校	中3	15.7		
Test				
形態		垂直跳		
①身長(cm)	160.0	⑦垂直跳(cm)	65.0	順位 2位 評価 A+
②体重(kg)	58.0			
身体組成		20mスprint		
③体脂肪率(%)	10.5	⑧10mタイム(秒)	1.58	順位 3位 評価 B+
④脂肪量(kg)	6.1	⑨20mタイム(秒)	3.00	
⑤除脂肪量(kg)	51.9			
⑥除脂肪量身長比(kg/m)	32.4	プロアジャリティテスト		
		⑩プロアジャリティ(秒)	4.56	順位 13位
TOKAIGAKUEN UNIVERSITY School of Sport and Health Science				

測定結果をフィードバックするための個人カード例

三好ともいきスポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブ）

1. 目的・概要

総合型地域スポーツクラブは、地域のスポーツ資源を活用してスポーツ振興や健康づくりを行うための拠点となる組織であり、各市町村に最低一つは設置することが国のスポーツ基本計画の中に位置づけられている。みよし市では、みなよし地区に「三好さんさんスポーツクラブ」、なかよし地区に「なかよしクラブ」の2クラブがすでに設立済みであるが、残るきたよし地区に、みよし市と東海学園大学、地域住民とが連携して「三好ともいきスポーツクラブ」が設立された。（平成28年6月18日）

クラブでは大学の施設を活用した運動プログラムを中心として、一部地域の施設を活用したプログラムも行っている。28年度のクラブ会員数は169名である。

（みよし市より地域スポーツクラブ補助金の支給あり）

活動の概要

28年度に実施したプログラムは以下の通りである。

通年プログラム

- 1、スポーツ吹矢倶楽部：隔週月曜日 10:00～12:00（三好丘・大覚寺）
- 2、グラウンドゴルフ倶楽部：毎週火曜日 9:00～10:00（第2グラウンド）
- 3、健康運動倶楽部：毎週火曜日 13:00～14:00（5号館ダンススタジオ）
- 4、公園体操：毎週水曜日 9:00～10:00（三好丘桜公園）
- 5、ポールウォーキング倶楽部：毎週金曜日 9:00～10:00（第1グラウンド&キャンパス周辺）
- 6、マシントレーニング倶楽部：毎週土曜日 10:00～13:00（5号館トレーニングルーム）

単発プログラム

- 1、運動チャレンジ教室1（体操）：8月2日～5日 9:30～11:00（5号館アリーナ）
- 2、運動チャレンジ教室2（コーディネーション運動）：8月18日～19日 9:30～11:00（5号館アリーナ）
- 3、ともいき体操くらぶ：10～12月・1～3月の土曜日 9:00～10:30 各8回ずつ開催（5号館アリーナ）
- 4、親子で遊ぼう：3月11日、18日 9:15～10:15（5号館ダンススタジオ）

2. 担当部局

地域連携推進室

三好ともいきスポーツクラブ

- 会長：村松常司（スポーツ健康科学部長）
副会長：平松学（東海学園大学キャリア開発センター（教職支援）参与）
理事長：島岡清（東海学園大学スポーツ健康科学部特任教授）
副理事長：黒須雅弘（東海学園大学スポーツ健康科学部講師）
監事：谷洋幸（東海学園大学事務局次長）
理事：小田佳子（東海学園大学スポーツ健康科学部准教授）
理事：出口順子（東海学園大学スポーツ健康科学部講師）
理事：井澤悠樹（東海学園大学スポーツ健康科学部助教）
会計：榎原仁美（東海学園大学地域連携推進室長）
事務局：西田耕太郎（東海学園大学地域連携推進室員）

3. 所見・成果

本クラブは、従来から本学で行っていた各種健康運動プログラムを母体として設立されたものであり、現在は高齢者向けのプログラムが中心となっている。今後は子ども向けのプログラムや地域主導のプログラムを充実させる必要があるが、29年度からは子ども向けの体操教室が通年開催となるなど、少しづつ発展している。また、クラブ運営や運動プログラムの開発を通じて地域とのつながりもできつつある。

今後は本学学生のアクティブラーニングの場として有効活用できるように組織を整備していくことが重要であると考えられる。

【参考資料】

2016年度(設立時)の会員募集パンフレットを以下に示した。

The brochure features a collage of six small photos at the top showing various sports activities. Below them is a larger photo of a person. The main text area includes:

総合型地域スポーツクラブとは・・・
子どもから高齢者までの幅広い世代が、それぞれの意向やレベルに合わせていろいろなスポーツや運動を楽しむことのできる、地域に根ざした非常利型のスポーツクラブのことを言います。運営形態は地域住民が主体的に運営する方式が一般的ですが、大学が地域と協力して運営するクラブも多數あります。少子・高齢化社会が進む中で、今後は地域の健康づくりやスポーツ振興の拠点となることが期待されています。みよし市では、なかよし地区の「なかよしクラブ」、みなよし地区の「三好さんさんスポーツクラブ」について3つのクラブとなります。

会員募集!
三好ともいきスポーツクラブ

「三好ともいきスポーツクラブ」ってどんなクラブ?
みよし市と東海学園大学、きたよし地区的住民が連携して、東海学園大学三好キャンパスを主な活動拠点として設立する総合型地域スポーツクラブです。
クラブでは以下のようないくつかの活動を行います。

- ・スポーツや運動を通じて、子どもの健全な成長、働きざかり世代の健康増進、高齢者の介護予防などに役立つプログラムを地域に提供します。
- ・地域や大学の持つスポーツ資源（人、組織、施設、設備など）を積極的に活用して、各種のプログラムをつくります。
- ・スポーツ・運動プログラム以外にも、健康講座や指導者研修の開催、調査研究など、幅広く活動します。
- ・各種プログラムの開発やクラブの運営などを、大学と地域とで連携して行い、協力しながらクラブを発展させていきます。
- ・これらの活動を通じて、人と人、人と組織、組織同士のつながりが豊かな、健康で活力のある地域づくりを目指します。

【会長挨拶】 少子高齢化社会を迎えて、健康で活力のある地域を築くことは社会の重要な課題となっています。子どもから高齢者までの幅広い世代が、スポーツや運動に親しみ、活動的な生活を送ることは、そのための有効な方策の一つです。最近では、地域の人のつながりが個人の健康と深く関わっていることもわかってきました。スポーツには人種、性別、年代を超えて人のつながりをつくっていく力があります。本クラブの名称どもなっている「ともいき（共生）」という言葉には、人は自分を取り巻く自然や他人と共に生き、生かされているという意味があります。地域と大学とで協力しながら、この三好ともいきスポーツクラブを育てていきましょう。

(東海学園大学スポーツ健康科学部長 村松常司)

地域連携支援プログラム全活動概要一覧

【大学】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(参 加 人 数)	種別	の協 有定 無書
1	マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2017 「名古屋ウィメンズマラソン＆名古屋シティマラソン」 「名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン2017」	医療・救護ボランティア	2017.3.12	名古屋ドーム、瑞穂グランド、白川公園、マラソンコース	(150)	協力	無
		ホイールチェアマラソン、外部講師招聘による事前研修会(2016.2.6)と当日のボランティア 講師:三井利仁(日本福祉大学) 講師:野々村知幸(現役ホイールチェア選手) 講師:安藤佳代子(立教大学)					無
2	NAGOYAおもいやりジョグ & ウォーク大会	低所得世帯の子どもへの給付型奨学金を2018年度から給するためのチャリティイベントをNPO.NAGOYAおもいやり実行委員会に協力した。	2016.12.3	名城公園北園	(4)	協力	無
					(20)	協力	
3	長野県塩尻市および朝日村における農業体験およびボランティアプログラム	教育学部小島准教授、人文学部ほしの准教授、谷准教授と各ゼミ学生を中心とした活動で ①農業体験(塩尻市) ②造形ワークショップ(朝日村) ③マンガ講座(朝日村)などを行っている。 (2016年8月度農業体験ボランティア参加者は20名)	2016.8.10・11 2016.10.1	長野県塩尻市、東筑摩郡朝日村	①(20) ③ 25 (10)	協賛	無
					②50 (36)	協賛	無
4	119番ファースト～皆で救う命	マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知実行委員会医療部会とのコラボ企画により、緊急時の119番通報の大切さを伝えるビデオを制作、発表。 マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知参加者向け(動画) 公開:マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知公式ホームページ YouTube https://youtu.be/JJNr5gbIn0g	撮影日時 2017.1.4	撮影:三好キャンパス			
5	子ども支援	【学習サポート】 十分な学習環境がない児童の学習サポート、原学区と平針南学区で天白区が独自に実施の事業 有償ボランティア	通年 毎週土曜	原学区 (原コミュニティセンター) 平針南学区 (平針南コミュニティセンター)	(延162)	協力	無
		【原小トワイライトスクール】 原小学校トワイライトスクールに学生がボランティア参加	通年 日祝:お盆年末 年始を除く	原小学校	(延510)	協力	無

【経営学部】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(参 加 学 生 人 数)	種別	の協 有定 無書
1	企業との連携による課題解決活動	サンパーク犬山様が事業として行っているスポーツジム、レストラン、宿泊の3事業について、現状のビジネスモデルを企業側と一緒に整理する。7月20日は事業ごとに学生の考えた新プランを経営者へ提案・発表する。	2016.4.20 2016.6.1 2016.7.20	サンパーク犬山	(12)	主催	無
2	バスボムを作ろう	みよし市の北よし地区を中心に活動している地域活性化プロジェクトekinokoの夏休み工作企画で、園児や小学生を対象に「泡の出る入浴剤バスボム」作りを行なう。	2016.8.3 11:00～13:00	みよし市 カリヨンハウス	10 (1)	協力	無
3	防犯・防災ボランティア:東海学園大学TOMOIKI Official Patrol Squad(TOPS)・ちいむともいき(みよし市消防団)の活動	①親子で遊ぼうワークショップ ②三好丘コミュニティ防災訓練 ③防災訓練ボランティア ④なつ得！安全安心フェア～交通安全・防犯を楽しく学ぼう！など	①2016.8.10～12 ②2016.9.4 ③2016.9.4 ④2016.12.11 など	①名古屋三越栄店 ②三好丘小学校 ③名古屋市守山保育園 ④名古屋市守山区志段味地区会館など	(1)(10) (2)(5) (4)(33) など	協力	有
4	愛知県商店街地域連携促進事業「新豊田商店街との地域連携」第1回打合せ	新豊田商店街の活性化を目指した新たな取り組みにチャレンジする。商店街活動のマンネリ化を解消するために、学生の知恵とアイデアで学生目線の企画を提案し、小さな成果を積み重ねていく。	2017.2.3 10:30～11:30	三好キャンパス	21 (14)	主催	無
5	戦略と交渉のアナログゲーム研究会	東海学園大学の学生と一緒にアナログゲームを体験しながら、戦略的志向や交渉を学ぶ。	①2016.10.20 ②2016.11.17 ③2016.12.15 ④2017.1.19 各回16:40～19:10	みよし市 カリヨンハウス	①3(5) ②5(5) ③10(5) ④30(5)	主催	無

【人文学部】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(参 加 学 生 人 数)	種別	の協 有定 無書
1	【みよし市との包括協定】 コミュニティFM エフエムとよた 「みよしコミュニティーニュース」	エフエムとよたの番組「モミアゲラジオ」(毎週土曜日午後3:00～6:00放送)内で「みよしコミュニティーニュース」(放送時間午後3:50～4:00)のコーナーを担当。学生が市内イベントをインタビュー取材し、レポーターとして地域情報を発信する。2013年11月末より。(2013年11月29日付新聞記事あり)	毎週土曜日	みよし市カリヨンハウス	武市ゼミ(20)	共催	無
2	学生タウン名古屋 Nagoya Town Guide for Student	名古屋市による「学生タウンなごや」推進事業の一つ。市内の大学数校から学生代表が集まり、記事、写真の分担をしタウンガイドを作成、発行	8月発行	名古屋市総務局企画部	24(1)	協力	無

【教育学部】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(参 加 人 数)	種別	の協 有定 無書
1	碧南市藤井達吉現代美術館 夏休みワークショップ 「枝とひものまきまき造形」	小学生対象の造形ワークショップ。 枝とひもをつかった造形。 午前中は個人作品制作。午後からは 共同制作による空間表現。	2016.8.2	碧南市藤井達吉現代美術館	(3)	協力	無
2	サツマイモ掘り	保育園児と保育専攻の学生がいつ しょにサツマイモほりを楽しむ。	2016.10.10	名古屋キャンパス 内	40 (11)		無
3	医療救護ボランティア	「第18回にっぽんど真ん中祭り」での 救護活動補助	2016.8.26・27・ 28	久屋大通公園、 名古屋駅ほか	200チー ム 23000 名 医療ス タッフ 50名 (4)	協力	無
		愛知万博メモリアル第10回愛知県市 町村対抗駅伝徒走大会(略称 愛知 駅伝)での救護ボランティア	2016.12.3	モリコロパーク	2300 (10)	協力	無
		第48回おかざきマラソンでの救護ボラ ンティア	2016.11.27	岡崎公園岡崎 市内	7300 (23)	協力	無
4	〈ボランティア〉 名古屋城バディウォーク	ダウン症のある人とともに名古屋城を 歩いたり、広場で遊んだりする。(設営 及び片づけ含む) 石田妙美+本学学生	2016.10.29	名古屋城	23000 (8)	協力	無

【スポーツ健康科学部】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(参 加 人 数)	種別	の協 有定 無書
1	〈ボランティア〉 【みよし市との包括協定】 三好特別支援学校 ウォーキング部支援	三好特別支援学校ウォーキング部の生徒にスポーツ健康科学部の学生がポールウォーキング指導。	8月3~5日 25~29日 全6回	三好特別支援学校	(延33)	協力	無
	〈ボランティア〉 【みよし市との包括協定】 三好特別支援学校 マラソン同好会支援	三好特別支援学校マラソン同好会のトレーニングを陸上部長距離部員が指導。	2016.8.26 2016.8.29 全2回	三好特別支援学校	(延6)	協力	無
2	らくらく水泳 ~楽しく学んでスイミング~	第1部:水泳を学ぼう！ ～元オリンピックスイマーによる楽に泳げる水泳講義～ 第2部:水泳をやってみよう ～グループによる水泳レッスン～ 第3部:水泳を楽しもう！ ～誰でも参加可能な水泳リレー～	2016.10.30	三好キャンパス	60 (20)	協力	無
3	愛知水泳連盟コーチ研修会 2016	「水泳現場におけるスポーツ医学」 講師:平野 貢(株豊田自動織機／愛知水泳連盟 医・科学委員) 「トップスイマーのレース分析」 講師:高橋 篤史(愛知淑徳大学／日本水泳連盟科学委員・愛知水泳連盟医・科学委員) 「最新のスタート技術」 講師:佐々木 祐一郎(中京大学／リオデジャネイロオリンピック日本代表コーチ)	2016.12.11	三好キャンパス	100 (20)	協力	無
4	日本オリンピック・アカデミー 第4回ユースセッションin中京	高校生が学校教育だけでは得ることのできないオリンピズムの価値に触れる機会として、スポーツや文化的活動等の実践による体験と参加者相互の交流を通じてオリンピックの理念を体感し、知的理解を深めるための合宿型(2泊3日)の高校生向けオリンピック教育	2016. 12.24~26	中京大学豊田 キャンパス	募50 (13)	協力	無
5	第11回キッズアスレチックフェスティバル	走る・跳ぶ・投げる 陸上競技のいろんな種目にチャレンジしよう	2017.3.4	ウエイブスタジアム刈谷	212 (20)	協力	無

【健康栄養学部】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(参加人数)	種別	の協有定無書
1	天白区区民まつり	来場者に向け、骨密度測定、野菜チェック、パネルシアターを実施した。	2016.10.23	天白公園	300 (17)	その他	無
2	名古屋市北市場食の物語イベント	来場者に向け、骨密度測定、野菜チェック、パネルシアターを実施した。	2016.11.13	名古屋市北部市場	350 (14)	その他	無
3	天白区介護フェスタ	骨密度測定、ヘモグロビン測定、ステージ運営、高齢者の食事展示等を通じて、来場者に健康教育を行った。	2016.12.3	天白区役所講堂	601 (13)	協力	有
4	親子で作る Let's 野菜クッキング！	本料理教室は卒業研究の一環として、子どもの調理への関わり方を検討するために行なったものである。手軽に親子で作ることの出来る野菜料理を紹介し、実際に作ってもらい一緒に食べてもらい、学生がそれを補助しながら観察を行なった。	2017.2.4	名古屋市農業センター	27 (8)	主催	無
5	かんたん！野菜料理教室	本料理教室は、卒業研究で行政(蒲郡市)と共同で開発した、簡単に調理できる野菜レシピを実際に子ども達に調理してもらい、問題点を抽出するために行なう。	2017.3.26	蒲郡公民館	40 (6)	共催	無

【図書館】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(参 加 人 数)	種別	の協 有定 無書
1	図書館開放	①天白区民対象(名古屋図書館) ②みよし市民対象(三好図書館) ③公開講座受講生対象(両図書館)	2016.4.1～ 2017.3.31	東海学園大学 図書館	①93 ②12 ③ 三2 名34	主催	無

【共生文化研究所】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(参加人数)	種別	の協有定無書
1	ともいき市民講座 「浄土教美術の魅力」	①浄土教美術Ⅰ 飛鳥時代～奈良時代 ②浄土教美術Ⅱ 平安時代～鎌倉時代 ③法然上人と善導大師の肖像 ④浄土宗総本山・知恩院の美術 講師 小野佳代(人文学部准教授)	①2016.7.5 ②2016.7.12 ③2016.7.19 ④2016.7.26 火曜日 13:00～	名古屋キャンパス	延20	主催	無
2	ともいき市民講座 「法然上人の生涯と思」	①浄土教とは ②法然上人の前半生 ③法然上人の後半生 ④法然上人の思想 講師 斎藤蒙光(共生文化研究所講師)	①2016.7.7 ②2016.7.14 ③2016.7.21 ④2016.7.28 木曜日 13:00～	名古屋キャンパス	延8	主催	無
3	ともいき市民講座 「共生(東海学園の共生き～先師の主張～)と写経」	①椎尾弁匡師 ②梅原猛師 ③黒川紀章師 ④林靈法師 講師 田中祥雄(学監)	①2016.7.5 ②2016.7.12 ③2016.7.19 ④2016.7.26 火・水曜日 10:30～	みよし市 カリヨンハウス	延35	主催	無
4	ともいき市民講座 「仏教の基礎」	①仏陀・菩薩・阿羅漢・天(ブッダとは何か) ②彼岸・般若・波羅蜜・縁起(何を覚ったのか) ③念佛・合掌・焼香(どう敬うか) ④小乗と大乗(覚りへの導き) 講師 南清隆(共生文化研究所教授)	①2016.7.8 ②2016.7.15 ③2016.7.22 ④2016.7.29 金曜日 13:00～	みよし市 カリヨンハウス	延32	主催	無
5	ともいき市民講座 「共生(東海学園の共生き～先師の主張～)と写経」	①椎尾弁匡師 ②梅原猛師 ③黒川紀章師 ④林靈法師 講師:田中祥雄(学監)	①2016.11.14 ②2016.11.21 ③2016.12.12 ④2016.12.19 月曜日 13:00～	名古屋キャンパス	延8	主催	無
6	ともいき市民講座 「仏教とは何か」	①ブッダとは何か(釈尊伝の実像と虚像) ②覚りとは何か(縁起・無常・苦・無我) ③教えとは何か(中道・四諦・八正道) ④救いとは何か(菩薩道・極楽) 講師:南清隆(共生文化研究所教授)	①2016.11.18 ②2016.11.25 ③2016.12.9 ④2016.12.16 金曜日 13:00～	名古屋キャンパス	延15	主催	無
7	ともいき市民講座 「日本仏教のあゆみ」	①仏教伝来から奈良仏教 ②平安仏教 ③鎌倉仏教Ⅰ(法然と親鸞) ④鎌倉仏教Ⅱ(禅と日蓮) 講師:斎藤蒙光(共生文化研究所講師)	①2016.11.22 ②2016.11.29 ③2016.12.6 ④2016.12.13 火曜日 13:00～	みよし市 カリヨンハウス	延29	主催	無
8	ともいき市民講座 「心を癒す名僧たちの言葉」	①最澄(天台宗)と空海(真言宗) ②榮西(臨済宗)と道元(曹洞宗) ③法然(浄土宗)と親鸞(浄土真宗) ④良寛と一休 講師:神谷正義(共生文化研究所所長)	①2016.11.17 ②2016.12.1 ③2016.12.8 ④2016.12.15 木曜日 13:00～	みよし市 カリヨンハウス	延57	主催	無

【健康開発支援センター】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(参加生人数)	種別	の協有定無書
1	【みよし市との包括協定】「健康運動体験 in 花まつり」	三好キャンパス近隣住民向け運動教室	2016.4.9 10:00～12:00	三好キャンパス	47 (11)	主催	有
2	健康運動倶楽部(名古屋)	中高齢者向け運動教室	通年 毎週金曜 ①9:10～、 ②10:30～	名古屋キャンパス	延1313	主催	無
3	健康運動倶楽部(三好)	中高齢者向け運動教室	4月～6月 毎週火曜 13:00～14:00	三好キャンパス	延176 (延29)	主催	無
4	ポールウォーキング倶楽部	ポールウォーキング教室	4月～6月 毎週金曜 9:00～10:00	三好キャンパス	延327 (延53)	主催	無
5	グラウンドゴルフ倶楽部	グラウンドゴルフ	4月～6月 毎週火曜 9:00～10:00	三好キャンパス	延129	主催	無
6	公園体操	公園で運動教室	4月～6月 毎週水曜 9:00～10:00	三好丘桜公園	延154 (延15)	主催	無
7	マシントレーニング倶楽部	トレーニングルームのマシンを利用した運動教室	4月～6月 毎週土曜 9:00～10:00	三好キャンパス	延69 (延18)	主催	無
8	【天白区との包括協定】「てんぱくヘルスカレッジ(運動コース)」	天白区の高齢者向け運動教室	2016.5.18 2016.6.15 2016.7.20 2016.8.24 2016.9.12	名古屋キャンパス 天白公園	延537	協力	有
9	【大桑村との委託契約】地域住民のための健康講座「まめ習慣講座」	ポールウォーキングやスロー筋トレ等の運動教室	2016.5.27 2016.8.25 2016.9.8 2016.11.25	大桑村民体育館	延70	協力	有
10	<みよし市包括協定> 「みよし市スポーツ指導者講習会」	みよし市の運動指導者向け講座	①2016.6.18 ②同11.19 各17:00～19:00	三好キャンパス		協力	有
11	【天白区との包括協定】「天白区スポーツ推進委員向け連続講座」	天白区のスポーツ推進委員向け講座	2016.7.27 2016.8.24 2016.9.7・14	天白区役所 名古屋キャンパス	15 (5)	協力	有
12	【名古屋市委託事業】「なごや健康カレッジ」	学生参加型の中高齢者向け健康づくり教室	2016.10.6～ 2017.1.19 毎週木曜 9:45～11:15 全13回	名古屋キャンパス	(12)	主催	有
13	運動指導のための科学的基礎 2016	運動指導者向け講座 講師： ①三宅義明(スポーツ健康科学部教授) ②高石鉄雄(名古屋市立大学大学院教授) ③重松良祐(三重大学教授)	2016.10.29 14:00～17:20	三好キャンパス	68 (14)	主催	無
14	ニュースポーツフェスティバル 2016	バランスボールを学生が指導	2016.10.30	モリコロパーク	687 (48)	協力	無
15	紅葉ウォーク in モリコロパーク	ウォーキング	2016.10.30 10:00～11:00	モリコロパーク	21 (1)	主催	無

【健康栄養プラザ】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(参加人数)	種別	の協定書
1	健康栄養プラザ 本コース 「選んで摂ろう乳酸菌 快腸な毎日を過ごすために！」	講義:乳酸菌について 調理実演及び実習:元気を作り出す食事	2016.4.23	名古屋キャンパス 調理実習室	23(6)	主催	無
2	健康栄養プラザ スポーツ栄養コース開講記念シンポジウム 「トップアスリートに学ぶ勝つ食べ方」	シンポジウム 基調講演:スポーツ栄養士オススメの『強くなる食事術』 体験コーナー:身体計測、体力測定、食事診断 企業展示ブース:スポーツ栄養関連企業商品展示	2016.5.21	名古屋キャンパス 311大講義室 学生ホール 420、427教室	309(24)	主催	無
3	健康栄養プラザ スポーツ栄養コース 「アスリート必見！正しい食べ方をマスターする」	講義:アスリートの食事について 食事選択実習:SATシステムによる食事診断	2016.6.18	名古屋キャンパス	17(4)	主催	無
4	健康栄養プラザ 本コース 「梅雨時の食品衛生」	講義:食中毒を防ぐには 調理実演及び実習:蒸し暑さを食事で一掃	2016.6.25	名古屋キャンパス	20(5)	主催	無
5	健康栄養プラザ スポーツ栄養コース 「明日は勝つ！試合前の食事術」	講義:試合前に何を食べるかの疑問を解決 調理実習:試合前日の高糖質食	2016.7.2	名古屋キャンパス	20(5)	主催	無
6	健康栄養プラザ 子ども栄養コース 「野菜を食べよう！①」とうがくクッキング	調理実習:野菜たっぷりの夏メニュー 食育シアター:野菜を食べよう	2016.8.2	天白児童館	18(8)	共催	無
7	健康栄養プラザ 本コース 夏の暑さも 食事でパワーアップ	講義:世界の料理で夏ばて対策 実習:各国料理を日本風にアレンジ	2016.8.6	名古屋キャンパス	23(6)	主催	無
8	健康栄養プラザ 子ども栄養コース 「野菜を食べよう！②」とうがくクッキング	調理実習:野菜たっぷりの夏メニュー	2016.8.16	天白児童館	14(3)	共催	無
9	健康栄養プラザ 子ども栄養コース 初めての離乳食	講義:何をどれくらい？離乳食の基礎 実習:各期の離乳食	2016.8.27	名古屋キャンパス	10(4)	主催	無
10	健康栄養プラザ 本コース 麻酔科医が語る 痛みのメカニズム	講義:“痛み”を科学する 実習:夏の疲れをためない食事	2016.9.3	名古屋キャンパス	24(6)	主催	無
11	健康栄養プラザ スポーツ栄養コース 賢く食べてウエイトアップ！ スポーツ選手のウエイトコントロール:增量編	講義:携帯計測(体脂肪、骨密度) 調理実習:食べる力をつけるために	2016.10.1	名古屋キャンパス	13(5)	主催	無
12	健康栄養プラザ スポーツ栄養コース スポーツ選手の正しいダイエット・ウエイトコントロール	講義:形態計測(体脂肪、骨密度)	2016.10.29	名古屋キャンパス	6(3)	主催	無
13	健康栄養プラザ 本コース 新そばの季節 手打ちそばを楽しむ	講義:そばと健康 実習:そば打ち	2016.11.12	名古屋キャンパス	16(3)	主催	無
14	健康栄養プラザ 本コース ダイエットおせちにチャレンジ	講義:おせち文化 実習:低エネルギーおせち料理づくり	2016.11.26	名古屋キャンパス	23(10)	主催	無
15	健康栄養プラザ 本コース アンチエイジング基本のキ	講義:アンチエイジング 実習:機能性食品、栄養バランスを考えた調理実習	2017.2.4	名古屋キャンパス	26(5)	主催	無
16	健康栄養プラザ 本コース 知って使いこなす冷凍食品	講義:冷凍食品の使用法の基本 実習:市販冷凍食品をバランスよく食事につける調理実習	2017.3.4	名古屋キャンパス	30(5)	主催	無
17	天白保健所との共催 食で支える明日の元気	講義:高齢者の健康維持のための食生活 実習:低栄養対策のためのバランス食づくり	2017.3.8	名古屋キャンパス	23(4)	共催	無
18	健康栄養プラザ 子ども栄養コース 父が作る離乳食講座	講義:離乳食の進め方 実習:簡単な取り分け離乳食	2017.3.11	名古屋キャンパス	9(5)	主催	無

【地域連携推進室】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(参 加 学 生 人 数)	種別	の協 有定 無書
1	公開講座 「江戸歌舞伎」 (春学期)・(秋学期)	歌舞伎をテーマに毎回異なる演目について解説 講師:安田文吉(人文学部特任教授)、 安田徳子(岐阜聖徳学園大学名誉教授)	期間中 毎週水曜 18:30～20:00	栄サテライト	春36 秋32	主催	無
2	公開講座 「オペラの魅力」 (春学期)・(秋学期)	各回異なるオペラの演目を中心に解説 講師:大須賀鬨雄(オペラ演出家)	期間中 隔週土曜 13:00～15:00	栄サテライト	春21 秋14	主催	無
3	【天白区との包括協定】 天白生涯学習センター連携講座 「平針木遣と歌舞伎」	名古屋市無形民俗文化財指定平針木遣保存会との企画 講師:安田文吉(人文学部特任教授)	2016.6.25 10:00～12:00	名古屋キャンパス	82	主催	有
4	【天白区との包括協定】 天白生涯学習センター連携講座 「デジタルストーリーテリングに挑戦！」	小学校4年生向け、パソコンを使って映像で綴る表現方法を学ぶ 講師:武市久美(人文学部准教授)	2016.8.1/2 10:00～15:00	名古屋キャンパス	12 (17)	主催	有
5	【天白区との包括協定】 天白生涯学習センター連携講座 「歌舞伎入門」(春学期)	歌舞伎のイロハ 講師:安田文吉(人文学部特任教授)、 安田徳子(岐阜聖徳学園大学名誉教授)	2016.4.13～5.25 毎週水曜	名古屋キャンパス	39	主催	有
6	【天白区との包括協定】 天白生涯学習センター共催講座 「歌舞伎入門」(秋学期)	歌舞伎のイロハを学ぶ 講師:安田文吉(人文学部特任教授)、 安田徳子(岐阜聖徳学園大学名誉教授)	2016.9.28～11.9 毎週水曜	名古屋キャンパス	119	共催	有
7	公開講座 大学教授たちがそつと教える明日から役に立つ 「プチ心理学12」	働く女性向け心理学講座 講師:Aテーマ河野和明(人文学部教授)、 Bテーマ伊藤君男(人文学部教授)、 Cテーマ高橋晋也(人文学部教授)	2016 Aテーマ:10.17・20 Bテーマ:10.24・27 Cテーマ:10.13・31	栄サテライト	延106	主催	無
8	名古屋市教育委員会共催講座 「女性のカラダと食のちょっといい話」	女性の身体に必要な運動や栄養・食生活についての講義 講師: ①松島佳子(健康栄養学部准教授)、 ②③中出美代(健康栄養学部准教授)、 ④端井しげみ(健康栄養学部准教授)	2017 ①2.1 ②2.8 ③2.15 ④2.22	イーブルなごや	延114	共催	無
9	2020年東京オリンピック・パラリンピックあいち選手強化事業 次世代につなぐスポーツ人材育成事業(サッカー)	講義「ユースサッカー選手のフィジカル強化の考え方」 講師:星川佳広(スポーツ健康科学部准教授) 実習「初速を高めるスプリントトレーニングの実践」 講師:黒須雅弘(スポーツ健康科学部講師)	2017.2.25 13:00～16:15	三好キャンパス	25 (9)	協力	無
10	公開講座 現地を訪ねるシリーズ 第4弾 【仏像鑑賞Ⅱ】運慶仏に会いに行く！	仏像鑑賞を学ぶ現地を訪ねる 講師:小野佳代(人文学部准教授)	2017.3.2・9・16	名古屋キャンパス 瀧山寺(岡崎市)	18 (2)	主催	無

【三好ともいきスポーツクラブ】設立2016.6.18

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(参加生人数)	種別	の協有定無書
1	健康運動倶楽部	運動教室	通年 毎週火曜 13:00～14:00	三好キャンパス	延528 (延52)	主催	無
2	ポールウォーキング倶楽部	ポールウォーキング教室・学生参加、指導:島岡清(スポーツ健康科学部特任教授)	通年 毎週金曜 9:00～10:00	三好キャンパス	延 969 (延57)	主催	無
3	グラウンドゴルフ倶楽部	グラウンドゴルフ・学生参加、責任者:島岡清(スポーツ健康科学部特任教授)	通年 毎週火曜 9:00～10:00	三好キャンパス	延 496 (延33)	主催	無
4	公園体操	公園で運動教室・学生が主体で指導、責任者:島岡清(スポーツ健康科学部特任教授)	通年 毎週水曜 9:00～10:00	三好丘桜公園	延 612 (延41)	主催	無
5	マシントレーニング倶楽部	トレーニングルームのマシンを使用・学生サポート指導	通年 毎週土曜 10:00～13:00	三好キャンパス	延183 (延44)	主催	無
6	スポーツ吹矢倶楽部	スポーツ吹矢教室 指導:外部講師	通年 第1・3月曜 10:00～12:00	大覚寺	延97 (延1)	主催	無
7	運動チャレンジ教室① ～苦手な体操を克服しよう～	小学3～6年生向け、マット・鉄棒・跳び箱等体操教室	2016.8.2～5 9:30～11:00	三好キャンパス	延78 (延49)	主催	無
8	運動チャレンジ教室② ～コーディネーション能力を高めよう～	小学校3年から6年生向け、バランス・反応等コーディネーション能力を高める運動教室鉄棒・跳び箱等体操教室	2016.8.18・19 9:30～11:00	三好キャンパス	延22 (延23)	主催	無
9	ともいき体操くらぶ	小学1～6年生向けマット・鉄棒・跳び箱等 体操教室・学生サポート指導、責任者:岡本敦(スポーツ健康科学部教授)	期間中 毎週土曜 9:00～10:30	三好キャンパス	延 231 (延58)	主催	無
10	紅葉ウォークin三好丘緑地	三好丘緑地をポールウォーキング 責任者:島岡清(スポーツ健康科学部特任教授)	2016.11.23 10:00～11:00	三好丘緑地	11 (1)	主催	無
11	三好丘子ども会運動教室	小学生対象のコーディネーション運動教室 指導:T3学生 責任者:島岡清(スポーツ健康科学部特任教授)	2016.12.18	三好丘小学校	59 (13)	主催	無
12	<親子向け特別企画> 「親子で遊ぼう！」	保護者と未就学児童を対象とした親子遊び 講師:水落洋志(教育学部准教授)	2017.3.11・3.18 9:15～10:15	三好キャンパス	22 (延7)	主催	無



平成 28 年度地域連携支援プログラム報告

発行：東海学園大学

発行年月：平成 29 年 8 月

表紙イラスト：鈴木彩女(教育学部卒業生)

名古屋キャンパス

住所：〒468-8514 名古屋市天白区中平 2-901

TEL : (052) 801-1201 FAX : (052) 804-1044

三好キャンパス

住所：〒470-0207 愛知県みよし市福谷町西ノ洞 21 番地 233

TEL : (0561) 36-5555 FAX : (0561) 36-6757